

令和3年度 青葉区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	区民サービス向上事業	2,888	2,888	2,646	2,646	242	242
2	利用しやすい区役所づくり事業	11,592	11,592	10,165	10,165	1,427	1,427
3	データ活用推進事業	670	670	954	954	△ 284	△ 284
4	メディアによる広報事業	5,380	5,380	5,280	5,280	100	100
5	広報・広聴事業	3,867	3,483	3,510	3,126	357	357
6	まちづくり推進事業	2,615	2,615	3,117	3,117	△ 502	△ 502
7	商店街活性化・中小企業振興事業	945	945	945	945	0	0
8	青葉ブランド事業	1,075	1,075	1,250	1,250	△ 175	△ 175
9	花と緑があふれる街事業	1,019	1,019	1,169	1,169	△ 150	△ 150
10	あおば地産地消の推進	500	500	500	500	0	0
11	あおば地域サポート事業	3,520	3,520	3,000	3,000	520	520
12	青葉環境エコ事業	695	695	1,195	1,195	△ 500	△ 500
13	青葉6大学連携事業	575	575	400	400	175	175
14	自治会町内会支援事業	1,835	1,835	1,751	1,751	84	84
15	地域防犯支援事業	1,787	1,787	2,167	2,167	△ 380	△ 380
16	青葉区民まつり事業	4,725	4,725	4,225	4,225	500	500
17	清潔できれいな街事業	1,768	1,768	1,768	1,768	0	0
18	3R推進事業	1,132	1,132	1,212	1,212	△ 80	△ 80
19	災害時要援護者地域支えあい事業	1,168	1,168	1,161	1,161	7	7
20	青葉区防災の街づくり事業	9,014	9,014	9,370	9,370	△ 356	△ 356
21	交通安全対策事業	5,285	5,285	4,308	4,308	977	977
22	芸術文化振興事業	5,368	5,368	4,867	4,867	501	501
23	区民活動支援センター事業	3,390	3,390	3,509	3,509	△ 119	△ 119
24	地域スポーツ振興事業	3,800	3,800	3,800	3,800	0	0
25	地域での読書活動推進事業	315	315	1,915	1,915	△ 1,600	△ 1,600

令和3年度 青葉区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
26	乳幼児健康づくり事業	2,552	2,552	2,258	2,258	294	294
27	児童虐待・DV対策事業	2,208	2,208	2,558	2,558	△ 350	△ 350
28	子育て支援事業	8,489	8,489	8,351	8,351	138	138
29	保育園子育てスマイル事業	2,590	2,561	639	587	1,951	1,974
30	青少年育成事業	307	307	1,007	1,007	△ 700	△ 700
31	地域福祉保健推進事業	2,494	2,494	4,245	4,245	△ 1,751	△ 1,751
32	青葉区健康長寿のまちづくり支援事業	4,398	4,398	5,162	5,162	△ 764	△ 764
33	地域における起業等支援事業	2,000	2,000	2,500	2,500	△ 500	△ 500
34	地域包括ケアシステムの推進	3,274	3,274	2,030	2,030	1,244	1,244
35	障害者ふれあい事業	1,050	1,050	1,050	1,050	0	0
36	障害児支援事業	441	441	441	441	0	0
37	快適で衛生的な暮らし支援事業	686	686	737	737	△ 51	△ 51

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	窓口サービス向上	事業開始年度	平成20年度
------	--------	---------	----------	--------	--------

事業名	区民サービス向上事業
-----	------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,888					2,888
前年度	2,646					2,646
増△減	242	0	0	0	0	242

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	1,308	1,508	1,854
メリット+一般財源	1,308	1,508	1,854
決 算 事業費	1,273	1,312	2,433
メリット+一般財源	1,273	1,312	2,433

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	2,888	2,888
一般財源	2,888	2,888

方針に関する決裁種別()
有:件名()、日付(年月)

無

事業の概要(目的)	区民、来庁者に対する接遇及びおもてなしの向上に向けて、改善を図ります。具体的には職員向けの研修、戸籍課窓口の混雑対策等を実施します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	1 区役所職員の親切丁寧な対応への期待に応えるため、窓口対応等の改善が求められています。 2 市職員のみならず、市民に対しても人権意識を醸成する機会を提供することが必要です。 3 戸籍課登録担当の窓口繁忙期は来庁者が集中するため、来庁者の待ち時間が短くなるよう対策が必要です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針 2 安全で安心して暮らせるまち
3 根拠法令・要綱等	1 横浜市役所窓口サービス標準 2 横浜市職員人権啓発研修推進要綱

【実績の推移・今後見込み】
窓口対応等のレベルを維持・向上し、職員の満足度も高めます。

【実施内容】

- CS・ES研修等
各課からCS・ESリーダーを選出し、外部講師による研修を行い、各課の実情に応じた課題改善のための取組や、お客様と職員双方の満足度が向上するための区全体での取組を行います。
- 人権啓発研修、人権啓発講演会
責任職はグループに分かれて研修を行うとともに、職員は責任職のグループが実施する職員向け研修を受講します。
また、市民・職員を対象とする講演会を開催し、人権意識の向上を図ります。
- 戸籍課窓口の混雑対策
戸籍課窓口において、繁忙期で来庁者及び入電数が増加する時期に、電話対応の一部を専門スキルを持つ業者に委託するなど、来庁者の待ち時間の短縮につなげ、区民サービス向上を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
CS・ES向上研修等	1,050	950	100	「おくやみハンドブック」の増刷による増
人権啓発研修、人権啓発講演会	128	128	0	
戸籍課窓口の混雑対策	1,710	1,568	142	実施日の増加による増
事業費合計	2,888	2,646	242	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務係
	守屋 大介	霧生 浩司	島谷 大河

予算区分	区役所総務費 区役所総務費	性質・ 課題区分	窓口サービス向上 区庁舎・区民利用施設環境改善	事業開始年度	令和3年度
------	------------------	-------------	----------------------------	--------	-------

事業名	利用しやすい区役所づくり事業
-----	----------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	11,592					11,592
前年度	10,165					10,165
増△減	1,427	0	0	0	0	1,427

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	10,550	8,149	10,715
メリット+一般財源	10,550	8,149	10,715
決 算 事業費	14,118	14,567	19,617
メリット+一般財源	14,118	14,567	19,617

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	11,592	11,592
一般財源	11,592	11,592

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年月)
 無

事業の概要 (目的)	安全で快適な区庁舎の環境整備を図り、区民が利用しやすい区役所づくりを図ります。具体的には、来庁者と職員向け新型コロナウイルス感染症対策物品の整備や区庁舎等の環境整備等を実施します。
---------------	--

(説明)																																									
1 地域の課題等	<p>1 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化を見据え、来庁者に安心して区庁舎等を利用してもらえるよう、新型コロナウイルス感染症対策物品の整備が必要です。</p> <p>2 青葉区総合庁舎や区民利用施設については、築年数の経過に伴い、利用者の視点に立った環境整備が必要です。</p>																																								
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等																																								
2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針 2 安全で安心して暮らせるまち																																								
3 根拠法令・要綱等																																									
【実績の推移・今後見込み】																																									
<p>新型コロナウイルス感染症対策物品整備は、新型コロナウイルスの感染状況等も注視しながら、取り組めます。区庁舎等の環境整備は、施設の老朽化や狭あい化に応じて対処しています。今後も継続して整備・改善に取り組めます。</p> <p>【実施内容】</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症対策物品整備 区庁舎内における新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来庁者と職員向けのマスク・消毒液等、必要な物品を整備します。</p> <p>2 区庁舎等の環境整備 区庁舎及び区民利用施設の設備、備品の更新、庁舎等の環境整備、庁舎周辺の緑化環境の整備、窓口システムの維持管理等を行います。</p> <p>【事業費の内訳】</p>																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症対策物品整備</td> <td>2,600</td> <td>0</td> <td>2,600</td> <td>新規</td> </tr> <tr> <td>区庁舎等の環境整備</td> <td>8,992</td> <td>10,165</td> <td>△ 1,173</td> <td>実績による減</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>11,592</td> <td>10,165</td> <td>1,427</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	新型コロナウイルス感染症対策物品整備	2,600	0	2,600	新規	区庁舎等の環境整備	8,992	10,165	△ 1,173	実績による減				0					0					0					0		事業費合計	11,592	10,165	1,427	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																																					
新型コロナウイルス感染症対策物品整備	2,600	0	2,600	新規																																					
区庁舎等の環境整備	8,992	10,165	△ 1,173	実績による減																																					
			0																																						
			0																																						
			0																																						
			0																																						
事業費合計	11,592	10,165	1,427																																						
【根拠とするデータ等】																																									

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 守屋 大介	係長 老松 太一 佐藤 優	庶務・予算調整 係 松元 一紘 高野 久美子
--------------------	-------------	---------------------	------------------------------

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成6年度
------	---------	---------	-------	--------	-------

事業名
データ活用推進事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	670					670
前年度	954					954
増△減	△ 284	0	0	0	0	△ 284

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	278	328	954
メリット+一般財源	278	328	954
決算 事業費	482	444	795
メリット+一般財源	482	444	795

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	670	670
算 一般財源	670	670

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	青葉区勢の現状・推移を統計データで明らかにした、青葉区統計要覧を作成します。また、公的データの利活用やオープンデータ化を推進することで、区民の利便性向上及び業務の効率化を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

区民と行政の間では、様々な情報・データの共有化が求められています。青葉区に関する各種統計情報やその推移については、区民・企業等から頻りに照会される事項となっています。また、地域の課題やニーズの多様化に伴い、様々な情報・データに基づくより根拠のある施策の立案が求められています。

地域の課題等の収集手段

2 運営方針等との関係

青葉区の特徴や課題など、区を取り巻く状況の把握・共有化に資することで、効果的な事業の選択および区民活動の発展に貢献します。

3 根拠法令・要綱等

【実績の推移・今後見込み】

青葉区統計要覧の発行実績

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度見込
発行部数	1,800	1,800	1,800	1,800	2,000	2,000	2,000	2,000	HP掲載
発行時期	11月	7月	7月	12月	2月	10月	1月	12月	12月

【実施内容】

市・区役所内の関係各課と連携し、青葉区に関する各種統計情報を掲載した青葉区統計要覧を作成し、区ホームページに掲載します。インターネットの普及により利用者へのデータ提供が広く行えていることから、令和3年度から紙媒体の印刷は廃止し、ホームページからダウンロードできる形で提供します。また、統計要覧のデータをはじめ各種の公的なデータをオープンデータとして提供し、区民の皆様の利便性を向上します。あわせて、根拠のある施策立案や地元説明に効果的なGIS(地図情報システム)を取り扱うことのできる人材の育成やカタログ整理を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
青葉区統計要覧作成	305	494	△ 189	印刷を行わないことによる減
データ活用の推進	365	460	△ 95	ライセンス機器第数の減
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	670	954	△ 284	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	統計選挙係・企画調整係
	守屋 大介 續橋 宏昭	長谷川 亜希	仁田尾 慧 塚本 啓太

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成8年度
------	---------	---------	-------	--------	-------

事業名	メディアによる広報事業
-----	-------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,380					5,380
前年度	5,280					5,280
増△減	100	0	0	0	0	100

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	4,745	5,107	7,455
メリット+一般財源	4,745	5,107	7,455
決 算 事業費	4,934	5,106	7,104
メリット+一般財源	4,934	5,106	7,104

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	5,380	5,380
一般財源	5,380	5,380

方針に関する決裁 種別()
 有: 件名 (広報番組の制作について)、日付 (18年3月) 無

事業の概要 (目的)	区政情報・地域情報を区民によりわかりやすく広報するため、地域メディアであるコミュニティFM及びCATVを活用した情報提供を行います。また、近年の情報収集ツールであるスマートフォン及びタブレット等を対象に、区政情報及び各種イベント情報等、アプリによる発信も行います。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>区政情報・地域情報を区民によりわかりやすく広報するため、地域メディアであるコミュニティFM及びCATVを活用した情報提供を行う必要があります。</p> <p>また、近年の情報収集ツールであるスマートフォン及びタブレット等を対象に、区政情報及び各種イベント情報等、アプリによる発信も行う必要があります。</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望		
-------------	-----------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係	令和2年度運営方針 魅力を高め、発信するまち
-------------	------------------------

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】
 FMサルス「あおバリューRadio」、CATVイツコム「あおバリューTV from 丘の横浜」放送回数

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
FM	625	624	628	626	626
CATV	209	208	211	208	208

【実施内容】

- コミュニティFMを活用した区政情報の提供
 青葉区役所からのお知らせ・イベント情報や青葉区の地域情報等を発信していきます。また、防災情報、多言語（やさしい日本語と英語、中国語、ハングル、スペイン語）による放送も行います。
- ケーブルテレビでの区政情報番組の放送
 広く「青葉区の魅力」を発信し区のPRに活用できる番組を制作し、放送します。
- FM++（アプリ）を活用した情報発信
 各課の事業案内やイベント周知、区政情報の発信から防犯・防災情報等、区民向けの多様な情報を発信していきます。また、既存の広報媒体への誘導等を行い、相乗効果を狙っていきます。

【事業費の内訳】																										
<table border="1"> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>FMによる行政情報等の提供</td> <td>2,397</td> <td>2,397</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>CATVでの行政情報番組放映</td> <td>2,652</td> <td>2,652</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>FM++（アプリ）を活用した情報発信</td> <td>331</td> <td>231</td> <td>100</td> <td>広報ちらし作成の増</td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>5,380</td> <td>5,280</td> <td>100</td> <td></td> </tr> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	FMによる行政情報等の提供	2,397	2,397	0		CATVでの行政情報番組放映	2,652	2,652	0		FM++（アプリ）を活用した情報発信	331	231	100	広報ちらし作成の増	事業費合計	5,380	5,280	100		
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																						
FMによる行政情報等の提供	2,397	2,397	0																							
CATVでの行政情報番組放映	2,652	2,652	0																							
FM++（アプリ）を活用した情報発信	331	231	100	広報ちらし作成の増																						
事業費合計	5,380	5,280	100																							

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 中川 譲	係長 川口 美知与	広報相談 係 川田 奈美
--------------------	------------	--------------	-----------------

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成6年度
------	---------	---------	-------	--------	-------

事業名	広報・広聴事業
-----	---------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,867		384			3,483
前年度	3,510		384			3,126
増△減	357	0	0	0	0	357

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算	事業費	4,309	3,351	3,827
	メリット+一般財源	4,212	3,273	3,789
決算	事業費	3,968	2,824	3,501
	メリット+一般財源	3,864	2,747	3,842

歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	3,867	3,867
	一般財源	3,483	3,483

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	<p>【青葉区ガイドマップ】区政情報・地域情報を分かりやすく地図にまとめ、区民に提供しています。</p> <p>【転入者向け情報提供事業】転入者へ配布をしている市政・区政や地域の情報チラシ等をまとめて一つの袋に封入し配布することで、地域の活動やイベント等への参加を通じて、新たに青葉区に住む方の郷土意識の醸成を目指します。</p> <p>【区民会議】広聴手段の一つである区民会議を事務局という立場から支援し、市政・区政の運営の参考とします。</p> <p>【マスコットキャラクター管理運用事業】青葉区マスコットキャラクターを活用することで、青葉区に愛着を持ってもらうことを目指します。</p> <p>【その他広報】区内各所にPRボックスを設置することで、市政・区政情報を区民に提供する機会とします。</p>
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>【青葉区ガイドマップ】青葉区は転入者が多いため、青葉区の区政情報・地域情報及び施設情報を分かりやすく提供することが必要です。</p> <p>【転入者向け情報提供事業】青葉区は市外からの転入者が多く、定住志向も強い傾向にあります。転入者に向けた情報を転入の機会を捉えて提供することで行動を促し、ふるさと意識を醸成するきっかけをつくりたい。情報としては、次のようなものがあります。①市立図書取次サービス②自治会・町内会加入案内③災害時に役立つ健康づくり④高齢者・障がい者、子どもなどの福祉の関する情報が掲載された「福祉保健センターからのお知らせ」⑤区民まつり</p> <p>【区民会議】区民が自分たちの手で、住みよいまちづくりとよりよい暮らしを実現するためには、様々な立場の区民が幅広く参加する話し合いの場が必要です。</p> <p>【マスコットキャラクター管理運用事業】青葉区は区外への通勤・通学者の多い地域であり、区民の青葉区への愛着を醸成するためには、地域で一体感を感じるコンテンツが必要です。青葉区マスコットキャラクター「なしかちゃん」の着ぐるみやイラストの運用管理によって、区内のイベントの活性化を図ったり、区民が青葉区に親しみを抱く機会の創出につなげます。</p> <p>【その他広報】様々な媒体で各種市政情報・区政情報を発信していますが、インターネットで情報を入手できない方に対してもPRボックスを活用することで行政情報を発信することができます。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 6 区民要望 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度運営方針 さまざまな人や活動がつながる、活力のあるまち
3 根拠法令・要綱等	<p>【区民会議】青葉区民会議設置要綱、青葉区民会議事務取扱要領</p> <p>【マスコットキャラクター】青葉区マスコットキャラクター「なしかちゃん」着ぐるみ貸出要綱、青葉区マスコットキャラクター「なしかちゃん」イラスト使用要綱</p>

【実績の推移・今後見込み】

■青葉区ガイドマップ

平成29年度実績：25,000部（更新）、平成30年度実績：6,000部（増刷）、令和元年度実績：16,000部（更新）、令和2年度見込み：16,000部（更新）

■情報提供チラシ等を封入した袋の作成数

平成30年度作成数 8,400袋（実績）

令和元年度作成数 8,400袋（実績）

令和2年度作成数 8,400袋（見込み）

■青葉区民会議運営委員会・部会の開催回数

平成29年度実績：64回、平成30年度実績：66回、令和元年度実績：41回、令和2年度見込み：40回

■ポータルサイト情報提供事業 講習会・相談会実施回数

平成29年度実績：6回、平成30年度実績：6回、令和元年度実績：11回、令和2年度見込み：0回

■マスコットキャラクター着ぐるみ貸出件数

平成29年度：21件、平成30年度：16件、令和元年度：19件、令和2年度見込み：5件

【実施内容】

■青葉区ガイドマップ

青葉区ガイドマップの表面には区政情報・地域情報、裏面には施設情報（区内施設の配置等）を分かりやすく掲載した地図を掲載し、転入者等へ分かりやすく青葉区内の情報を提供します。

■転入者向け情報提供

障がい者就労施設等にチラシの封入の委託を行います。

月2回の納品により在庫数を抑えることで、封入物の急な入れ替えにも柔軟に対応することができます。それにより、適時のお知らせやイベントの直前での広報などが可能になり、転入者に最新の情報を届けることができます。

■青葉区民会議

区民のつどいの開催：広く区民に呼びかけ、地域の課題について話し合います。（3月予定）

区民会議ニュースの発行：区民会議の活動内容、結果を広報します。（年2回を予定）

■ポータルサイト情報提供事業

青葉区ウェブサイト開設した「青葉区民ポータルサイト」の運営管理を通じ、区内市民活動団体の活動を支援します。

■マスコットキャラクター管理運用事業

青葉区マスコットキャラクター「なしかちゃん」の着ぐるみやイラストを活用して区のPRを行います。

■その他広報

区内の鉄道駅に設置しているPRボックスの更新を順次行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
青葉区ガイドマップ	1,596	1,584	12	デザイン委託実施による増
転入者向け情報提供事業	207	207	0	
区民会議	503	503	0	
ポータルサイト情報提供事業	0	220	△ 220	講習会終了等による減
マスコットキャラクター管理運営事業	301	236	65	ソフトウェア購入の増
メディアリポーター事業	0	60	△ 60	事業終了による減
青葉区魅力スポット冊子の作成事業	0	700	△ 700	事業終了による減
その他広報	1,260	0	1,260	PRボックスの更新による増
事業費合計	3,867	3,510	357	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	中川 譲 白井 智廣	川口 美知与 川田 実	

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成6年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名	まちづくり推進事業
-----	-----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	○
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
20	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,615					2,615
前年度	3,117					3,117
増△減	△ 502	0	0	0	0	△ 502

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	942	2,142	15,319	予算	事業費	2,500	2,500
	メリット+一般財源	942	2,142	15,319		一般財源	2,500	2,500
決算	事業費	942	2,142	9,114	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	942	2,142	9,114	有:件名()、日付(年月)			

無

事業の概要(目的)	地域や関連機関の声を取り入れ、効果的に地域の課題解決を図ります。将来性のあるまちづくりを行います。
-----------	---

(説明)				
1 地域の課題等	まちづくりにおいては、地域や関連機関と区役所との連携が求められています。地域の課題解決のためには、課題抽出や情報共有を行う必要があります。			
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 5 区民アンケート			
2 運営方針等との関係	令和2年度区運営方針「自然と調和した、多世代が住みやすいまち」			
3 根拠法令・要綱等				
【実績の推移・今後見込み】				
<p>1 あおば街づくり連絡協議会 平成7年度から実施しており、今後も年1回継続的に実施します。</p> <p>2 青葉区まちのルールづくり連絡会 平成17年度から年1回開催し、今後も継続的に実施します。</p> <p>3 特色を生かした区づくりの推進 次回の区民意識調査に向けた調査項目の選定に必要な調査等を行います。共助により地域課題の解決を図るシェアリングエコノミーの認知度向上に向けた取組を行います。</p>				
【実施内容】				
<p>1 あおば街づくり連絡協議会 区内の主要な事業者、団体、学校、メディア、各種公共機関等の代表者が集まり、まちづくりに関する情報や意見を交換します。</p> <p>2 青葉区まちのルールづくり連絡会 区内の良好な住環境の維持・保全等、地域主導のまちのルールづくり支援を進めるため、青葉区まちのルールづくり連絡会を開催します。</p> <p>3 特色を生かした区づくりの推進 区民意識調査結果を可視化したデータを区内で共有し、各事業で活用するとともに、新たなニーズの把握や次回区民意識調査に向けた項目の選定に必要な調査等を実施します。 スペース以外の分野も含めたシェアリングエコノミー全体の認知度を向上させるため、広報PRやイベント・セミナー等を実施します。</p>				
【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
あおば街づくり連絡協議会	110	110	0	
青葉区まちのルールづくり連絡会	5	7	△ 2	新型コロナウイルス感染拡大防止に係る減
特色を生かした区づくりの推進	2,500	3,000	△ 500	分析終了に伴う減
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,615	3,117	△ 502	
【根拠とするデータ等】				

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	中川 謙、續橋 宏昭	久保 謙二、佐藤 孝之	間宮 彩貴子、川島 史也

[青葉 区 地域振興 課]

予算区分	街づくり推進費 地域コミュニティ費	性質・ 課題区分	商店街振興 地域コミュニティ	事業開始年度	平成19年度
------	----------------------	-------------	-------------------	--------	--------

事業名	商店街活性化・中小企業振興事業
-----	-----------------

特記事項	<input type="checkbox"/> 中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 中期計画-財政運営 <input type="checkbox"/> 重点事業 <input type="checkbox"/> 新規・拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業
------	---

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	945					945
前年度	945					945
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	845	845	845
メリット+一般財源	845	845	845
決 算 事業費	684	783	652
メリット+一般財源	684	783	652

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	945	945
一般財源	945	945

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	商店街及び中小企業と地域のふれあい・賑わい・つながりを創出し、地域の活性化を目的とします。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>・厳しい社会情勢を背景に、区内の各商店街は様々な事業・集客イベント等を展開していますが、より効果的な取組が必要な状況になっています。</p> <p>・区内の中小企業の中には、防犯・環境など地域貢献活動に力を入れている企業もあり、地域からも地元企業との円滑な関係作りが大切という声があがっています。また、区内には個人商店が多く、商店街との連携が不可欠となっています。</p> <p>・地域性を最大限生かして、商店街と地域住民・団体・学校等がさらに連携し、商店街の特徴をアピールすることが必要です。</p> <p>・商店会加盟店が減少傾向にあることから、より魅力ある商店街づくりとともに、後継者の育成が必要となっています。</p>
地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針 目標達成に向けた施策 3 さまざまな人や活動がつながる、活力のあるまち
3 根拠法令・要綱等	横浜市商店街の活性化に関する条例、青葉区商店街活性化連携事業補助金交付要綱、横浜市青葉区商店街活性化イベント助成事業補助金交付要綱、横浜市中小企業振興基本条例

【実績の推移・今後見込み】

	補助金	実施内容
平成30年度実績	300千円	商店街活性化事業等の実施
令和元年度実績	231千円	商店街活性化事業等の実施
令和2年度見込	400千円	商店街活性化事業等の実施

【実施内容】

- 各商店会が、自治会や学校等を中心とした地域団体と連携して実施する集客イベント等を支援するとともに、区民への積極的なPRを行います。
- 地域や企業と連携しながら、区内中小企業やその地域貢献活動を紹介するパネル展を開催するとともに、中小企業に係る講演を行い、区民の関心を高め、中小企業の振興に寄与します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
商店街活性化事業	445	445	0	
中小企業振興事業	500	500	0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	945	945	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	鈴木 昇	奥村 晃一	平野 絢子

[青葉区 地域振興課]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	商店街振興	事業開始年度	平成28年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名
青葉ブランド事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,075					1,075
前年度	1,250					1,250
増△減	△ 175	0	0	0	0	△ 175

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	2,000	1,850	1,250
メリット+一般財源	2,000	1,850	1,250
決算 事業費	1,864	1,491	1,262
メリット+一般財源	1,864	1,491	1,262

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	1,075	1,075
算 一般財源	1,075	1,075

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	青葉区が将来にわたって「住みたい・住み続けたい街」であり続けるため、青葉区内の美味しい飲食店を「青葉ブランド」に認定し、青葉区の魅力として区内外に発信する。 また、本事業を通して、認定店舗を紹介することにより、区内の商店街・中小企業の支援を行う。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化、人口減少の時代を迎え、青葉区が将来にわたって「住みたい・住み続けたい街」であり続けるためには、青葉区の有する様々な魅力を区内外に広く発信することが重要である。 ・厳しい社会情勢を背景に、更なる区内の各商店街、中小企業の発展支援が求められている。 ・青葉区には様々な魅力があり、美味しい飲食店が多くあるというのも、魅力のひとつである。
----------	---

地域の課題等の収集手段	
-------------	--

2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針 目標達成に向けた施策 4 魅力を高め、発信するまち
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	横浜市商店街の活性化に関する条例、青葉ブランド認定委員会設置要綱
------------	----------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

平成28年度は19店舗、29年度は20店舗、30年度は11店舗の美味しい飲食店（レストラン、スイーツ、パン屋、居酒屋などジャンルを問わず）を「青葉ブランド」に認定。令和元年度～2年度は認定を行わず、認定店舗同士の意見交換会を行うなど青葉ブランド認定店舗の広報に向けた検討を行った。

令和3年度は、青葉ブランド事業についての広報の充実を引き続き図っていく。

【実施内容】

だれもが関心を持っている「食」を切り口として、青葉区内の美味しいお店を「青葉ブランド」として平成28年度から3年間、認定委員会で選定してきた。

令和3年度は、区内外に向けて青葉区の魅力を発信するため、ブランド認定店舗によるネットワークを強化し、イベントを実施しながら広報の一層の充実を図る。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
青葉ブランド	1,075	1,250	△ 175	認定を行わないことによる減
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,075	1,250	△ 175	

【根拠とするデータ等】

・28年度認定店舗：19店舗、29年度認定店舗：20店舗、30年度認定店舗：11店舗

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 鈴木 昇	係長 奥村 晃一	地域活動係 井出 貴博
--------------------	------------	-------------	----------------

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	水・緑環境保全	事業開始年度	平成9年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名	花と緑があふれる街事業
-----	-------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,019					1,019
前年度	1,169					1,169
増△減	△ 150	0	0	0	0	△ 150

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	1,480	1,080	1,149
メリット+一般財源	1,480	1,080	1,149
決 算 事業費	2,742	1,050	970
メリット+一般財源	2,742	1,050	970

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	1,019	1,019
一般財源	1,019	1,019

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	地域の緑化ボランティア活動を支援し、花と緑があふれる住みやすい街づくりを目指します。また、「フラワーネックレス青葉2017」を契機に区内に広がった活動拠点における緑化活動の定着化、及びさらなる拡大を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 区内の花壇や植栽の中には手入れの滞りにより街の美観が損なわれているところもあります。区民からは、花や緑が多く潤いのある住みやすい街にという意見が多く、区民が花や緑で溢れる環境で快適に暮らせるようボランティア等による花壇や植栽の手入れが必要です。一方で、年々ボランティアの高齢化が進み、今後活動に参加する人材の確保も課題となっています。 「フラワーネックレス青葉2017」を契機に区内に広がった活動拠点における緑化活動の定着、またさらに拡大していくことが重要です。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート
-------------	------------	-----------

2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針 3 さまざまな人や活動がつながる、活力のあるまち
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	あおば花と緑のサポーター規約
------------	----------------

【実績の推移・今後見込み】

- 「フラワーネックレス青葉2017」の開催を契機に緑化ボランティア（あおば花と緑のサポーター）へ積極的な参加を呼び掛け、活動を活性化させるとともに、地域の活動拠点を新たに開拓し、また定着化を図りました。
- これらの取組を一過性のものとしないうために、今後もボランティア参加者の増加を目指すとともに、区民の花や緑への関心や意識の向上に取り組んでいきます。

【実施内容】

- 緑化ボランティアへの支援
 - 緑化ボランティア「あおば花と緑のサポーター」が各活動拠点で行う花と緑の植栽活動に対して、花苗等の支援を行います。引き続き、庁舎周りの花壇の環境整備にも取り組んでいきます。
- 緑化ボランティアの育成
 - 花や緑の育て方、土壌の手入れ法、花壇の構成など、ボランティアの課題に即した研修会（座学、実学）を開催し、ボランティアのスキルアップを図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ボランティア支援事業	987	1,137	△ 150	実績による減
ボランティア育成事業	32	32	0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,019	1,169	△ 150	

【根拠とするデータ等】
活動支援団体数 平成27年度：5団体 平成28年度：18団体 平成29年度：22団体 平成30年度：23団体 令和元年度：24団体

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	鈴木 昇	安田 良博	井出 貴博

[青葉 区 区政推進 課]

予算区分	街づくり推進費 街づくり推進費	性質・ 課題区分	地域まちづくり 水・緑環境保全	事業開始年度	平成28年度
------	--------------------	-------------	--------------------	--------	--------

事業名
あおば地産地消の推進

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
13	4

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	500					500
前年度	500					500
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	313	813	507
メリット+一般財源	313	813	507
決 算 事業費	260	538	786
メリット+一般財源	260	538	786

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	500	500
一般財源	500	500

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
無

事業の概要 (目的)	青葉区は市内でも農業が盛んな地域(田の栽培面積:市内1位 平成27年)で、区の魅力の一つとなっています。貴重な地域資源である農と農産物に関する情報を発信することで、区民の関心をより高め、地産地消の推進につなげます。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年4月に「横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例」が施行され、市が地産地消に関する関心と理解を深めるための広報等に努めることなどが挙げられています。 青葉区は特に農業が盛んで農が区の魅力の一つでもあるため、地域の活性化や地域への愛着につながる地産地消について区民の理解を深める必要があります。
----------	--

地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
-------------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度区運営方針「自然と調和した、多世代が住みやすいまち」
-------------	---------------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例
------------	----------------------------

【実績の推移・今後見込み】

- 区役所における直売「あおばマルシェ」の定期的な開催(平成28年度～)
- あおばマルシェにおける「あおばマルシェクラブ」(ポイントカード)の実施(平成30年度～)
- 広報PR(広報よこはま、レシピ帖や地産地消マップの作成・配布)
- 地産地消サポート店スタンプラリーの実施(令和元年度)

今後も区民に対してより一層、青葉区の魅力の一つである農をPRするため、地産地消を推進する取組を行います。

【実施内容】

- 「あおばマルシェ」の開催及び「あおばマルシェクラブ」の実施
青葉区庁舎内における地元農産物等の販売により、「地産地消」の魅力をPR
- 広報PR(広報よこはま、レシピ帖、令和2年度更新の地産地消マップ等)
- 青葉区産野菜のレシピを生かしたイベントの実施
- 地産地消サポート店を増やすための支援

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
あおば地産地消の推進	500	500	0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	500	500	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	中川 謙	久保 謙二	間宮 彩貴子

[青葉 区 区政推進 課]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成18年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名 あおば地域サポート事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 該当なし															
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	<table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table>									<table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table>							

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,520					3,520
前年度	3,000					3,000
増△減	520	0	0	0	0	520

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
子 事業費	4,200	4,000	3,000	子 事業費	3,520	3,520
算 メリット+一般財源	4,200	4,000	3,000	算 一般財源	3,520	3,520
決 事業費	2,192	1,562	1,350	方針に関する決裁 種別()		
算 メリット+一般財源	2,192	1,562	1,350	有:件名()、日付(年/月/日)		

事業の概要(目的)	人と地域のつながりづくりにより、地域課題の解決を図り、「住みつけたい・住みたいまち」青葉の実現を目指します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等
令和元年度青葉区区民意識調査において、「居住地域における課題や問題」の中で最も多かった回答が「近隣の人のつきあいの希薄化」で、「参加している地域活動」の項目では無回答が約2/3を占めています。そのため、地域に踏み出す「きっかけづくり」及び地域の「つながりづくり」を連携して取り組み、地域活動の活性化を図ります。また、区民の皆さまが地域活動を始める際、主体的・継続的に地域課題解決に取り組めるような支援制度を運用します。

地域の課題等の収集手段 7 関係団体からの要望

2 運営方針等との関係 令和2年度区運営方針「さまざまな人や活動がつながる、活力のあるまち」

3 根拠法令・要綱等 あおば地域サポート補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】
＜人と地域のつながりづくり＞

	平成30年度	令和元年度	2年度見込み	3年度見込み
区民利用施設交流会(参加人数)	26	32	—	40
青葉区地域力応援通信(発行数)※	10,000	2,500	1,500	2,000

※令和元年度 掲載内容リニューアル

＜あおば地域サポート補助金(テーマ型)※＞

	平成30年度	令和元年度	2年度見込み	3年度見込み
あおば地域サポート補助金(交付団体数)	3	2	5	5
交付金額(千円)	1,562	1,350	2,497	3,000

※平成25年度「青葉協働によるみらいおこし支援事業」として創設
※令和2年度 補助制度改正 名称を「あおば地域サポート補助金(テーマ型コース)」に変更

【実施内容】
交流会・広報・補助金など様々な手法において人と地域のつながりづくりを実施します。
＜人と地域のつながりづくり＞
・地域とつながる交流会(仮)
地域で活動を考えている又は既に活動をしている人・団体・事業者が相互につながり、活動のノウハウの習得や仲間づくりをすることができるように、講座や座談会などの交流の場を設け、つながりづくりを推進します。
また、各課で実施する交流会においても「地域とつながる交流会(仮)」に位置づけ、併せて広報等を実施します。

・区民利用施設交流会
地区センター、地域ケアプラザ、コミュニティハウスなどの区民利用施設を対象に交流会を実施します。
また、交流会がきっかけでうまれた施設間連携事業の支援を強化します。

・青葉区地域力応援通信「あおばいろ」
地域で活躍する「人」を紹介します。
あわせて、人と地域のつながりづくりの取組をPRします。

＜あおば地域サポート補助金(テーマ型)＞
・補助金交付により、区民の課題解決の取組を支援します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域とつながる交流会(仮)	90	0	90	新規事業
区民利用施設交流会	130	0	130	事業転換による増
青葉区地域力応援通信	300	0	300	事業転換による増
あおば地域サポート補助金	3,000	3,000	0	
事業費合計	3,520	3,000	520	

【根拠とするデータ等】
青葉区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	地域力推進担当 係
	中川 譲	玉川 信一	仁田尾 慧

[青葉区 区政推進課]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成21年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名
青葉環境エコ事業

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="checkbox"/>
中期計画-行政運営	<input type="checkbox"/>
中期計画-財政運営	<input type="checkbox"/>
重点事業	<input type="checkbox"/>
新規・拡充	<input type="checkbox"/>
温暖化対策関連事業	<input type="checkbox"/>

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
12	12

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	該当なし

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	695					695
前年度	1,195					1,195
増△減	△ 500	0	0	0	0	△ 500

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	400	850	1,310	予算	事業費	695	695
	メリット+一般財源	400	850	1,310		一般財源	695	695
決算	事業費	320	916	622	方針に関する決裁 種別() 有:件名(), 日付(年 月) 無			
	メリット+一般財源	320	916	622				

事業の概要(目的)	環境活動に取り組んでいる団体との協働により、身近な自然環境への関心を喚起し、脱温暖化対策や自然環境保全に関する意識の向上を図ります。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	脱温暖化対策や自然環境保全の取組は、すぐに結果がでるものではなく、継続的な事業実施が必要です。
地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度区運営方針「自然と調和した、多世代が住みやすいまち」
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】
 平成21年度から実施してきた「クールアース講座」に代わり、平成28年度から、「あおばエコ講座」として、区内小学校等からの要請に応じ区民団体を派遣して行う「青葉エコ・スクール」と小学生を対象とした「エコデイキャンプ」を実施しています。令和元年度からは、子どもから大人まで幅広い世代に向けた講演会も実施しています。
 平成29年度から実施しているミツバチプロジェクトでは、ミツバチを通じて区民に環境について考えていただくきっかけとなる取組を、区内大学と連携して行います。

【実施内容】
 ・あおばエコ講座：区民啓発イベントの開催（エコ・スクール、エコデイキャンプ、区民向け講演会）
 ・ミツバチプロジェクト：大学と連携し、ミツバチをきっかけに環境について学ぶイベントの実施

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
あおばエコ講座	510	1,010	△ 500	講演会設営委託見直しによる減
青葉ミツバチプロジェクト	185	185	0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	695	1,195	△ 500	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	中川 謙	久保 謙二	林山 るな

[青葉区 区政推進課]

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成22年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	青葉6大学連携事業
-----	-----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
8	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	575					575
前年度	400					400
増△減	175	0	0	0	0	175

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	452	400	400	予算	事業費	575	575
	メリット+一般財源	452	400	400		一般財源	575	575
決算	事業費	292	334	414	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	292	334	414	有:件名()、日付(年月日)			

(無)

事業の概要(目的)	区内大学と青葉区が密接に連携・協力し、双方の持つ知的、人的、物的資源を有効活用することにより、人材の育成、学術研究の向上並びに活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に寄与することを目的とします。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	教育、健康、地域振興等様々な分野で、各大学の知的、人的、物的資源の活用が求められています。地域課題の解決に向け、各大学と区役所で情報共有を行い、連携を強化する必要があります。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート		
-------------	------------	-----------	--	--

2 運営方針等との関係	令和2年度区運営方針「魅力を高め、発信するまち」
-------------	--------------------------

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

平成21年度に区内にキャンパスを有する6つの大学と協定締結後、連携講座等を行っています。平成29年度からは学長級の会議と運営委員会からなる「青葉6大学連携学長会議」やテーマに沿って各大学の講義を行う「青葉6大学連携特別講座」を開催しています。今後も情報共有等を通じて、区と各大学との連携を推進します。また、地域課題やニーズを大学と共有するなど、地域と大学とのつながりづくりを支援します。

【実施内容】

- 青葉6大学連携事業
- ・「青葉6大学連携学長会議」を開催します。(年1回)
 - ・「青葉6大学連携講座」を実施します。(各大学年1回以上)
 - ・区と各大学及び各大学間の情報共有を図るため、区と各大学の担当者会議を開催します。(年4回程度)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
青葉6大学連携事業	575	400	175	特別講座謝金による増
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	575	400	175	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	中川 謙	久保 謙二	林山 るな

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名
自治会町内会支援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,835					1,835
前年度	1,751					1,751
増△減	84	0	0	0	0	84

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	1,830	1,730	2,530
メリット+一般財源	1,830	1,730	2,530
決 算 事業費	1,690	1,745	1,595
メリット+一般財源	1,690	1,745	1,595

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	1,835	1,835
一般財源	1,835	1,835

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年月)
 無

事業の概要(目的)	自治会・町内会等の地域団体との連携を強化し、安全・安心で住み続けたい街づくりを進めます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	自治会・町内会への情報提供の充実、自治会・町内会間の協力・連携の場の提供及び活動意欲の向上のため、自治会・町内会を中心とする地域団体との連携を強化していく必要があります。		
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針 2 安全で安心して暮らせるまち		
3 根拠法令・要綱等	「横浜市市民協働条例」		

【実績の推移・今後見込み】

- 自治会・町内会等の地域団体との連携強化のため、8月・12月を除き毎月情報提供を行っています。
- 自治会・町内会活動意欲向上のため、毎年3月に「自治会町内会長感謝会」を実施しています。

【実施内容】

自治会・町内会連携促進事業

- 自治会・町内会との連携に係る経費を執行します。

<内容> 自治会・町内会への情報提供を行います(8月・12月を除く毎月実施)。

- 「自治会町内会長感謝会」を実施します。

<内容> 日頃から地域社会の振興に多大な役割を果たし、市政・区政に協力している自治会・町内会長の労をねぎらいます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
自治会・町内会連携促進事業	1,835	1,751	84	内容の見直しによる増
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,835	1,751	84	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	鈴木 昇	奥村 晃一	中溝 裕介

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防犯	事業開始年度	平成6年度
------	-------------	---------	----	--------	-------

事業名	地域防犯支援事業
-----	----------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,787					1,787
前年度	2,167					2,167
増△減	△ 380	0	0	0	0	△ 380

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算	1,519	1,367	2,136
決 算	1,519	1,367	2,136
予 算	1,417	1,505	1,619
決 算	1,417	1,505	1,619

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算	1,787	1,787
決 算	1,787	1,787

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	各地域での自主的な防犯活動への支援を行うことにより、安全・安心で住み続けたい街づくりを進めます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	依然として多発する特殊詐欺をはじめ、自転車やオートバイの盗難、空き巣やひったくりといった身近な犯罪が発生しています。また、青葉区区民意識調査でも「犯罪・治安」が心配という回答が常に上位となっています。そのため、区民の防犯意識が向上しており、自治会・町内会や商店街などが自主的に防犯活動を行っている地域が増えてきています。住み続けたい街づくりのため、区としても地域等が自主的に防犯活動を行う地域を支援し、地域の自主防犯組織の拡大や防犯活動の活性化を図ります。また、犯罪発生状況に即応した区民に向けた啓発が必要となります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 5 区民アンケート 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針 2 安全で安心して暮らせるまち
3 根拠法令・要綱等	「市民協働条例」

【実績の推移・今後見込み】

・自治会・町内会や商店街などが行う自主防犯活動への支援を通じて、今後も引き続き自主的な防犯活動を継続していくことが区民が安心して住み続けられる街づくりに繋がります。

【実施内容】

1 自主防犯活動支援事業

- 自治会・町内会や商店街等で実施している自主防犯活動団体へ、防犯パトロールに必要な防犯グッズ等を支援します。

2 区民の防犯意識向上のための啓発事業

- 犯罪の発生は時期のみならず、犯罪の種類にも流行があります。特殊詐欺や空き巣等、犯罪発生状況に即応した注意喚起チラシや啓発グッズを活用し、犯罪対策のための啓発を行います。特に特殊詐欺に対して、撲滅月間を設定し啓発を強化します。
- 警察や関係機関、地域住民と連携したキャンペーンや広報を実施し、区民に対する啓発を行います

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
自主防犯活動支援事業	556	746	△ 190	実績による減
区民の防犯意識向上のための啓発事業	1,231	1,421	△ 190	実績による減
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,787	2,167	△ 380	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	鈴木 昇	安田 良博	井出 貴博

[青葉 区 地域振興 課]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成7年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名
青葉区民まつり事業

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,725					4,725
前年度	4,225					4,225
増△減	500	0	0	0	0	500

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	4,266	4,266	4,376
メリット+一般財源	4,266	4,266	4,376
決算 事業費	4,213	4,104	4,316
メリット+一般財源	4,213	4,104	4,316

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	4,266	4,266
一般財源	4,266	4,266

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	「ふるさと意識の醸成と地域活動の促進」を目的に、地域間での連携と情報共有が図られる区民参加型のまつりを支援します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	地域の連携とふるさとの意識の醸成を図るため、区民参加型のイベントを実施します。また、当該イベントを通じて、地域団体の企画力・実行力を醸成するとともに、地域力のさらなる活性化を図るための支援を行います。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針 目標達成に向けた施策 4 魅力を高め、発信するまち
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	・青葉ふるさと協議会設置要綱 ・青葉区民まつり事業補助金交付要綱
------------	----------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

来場者数及び出店・出演団体数は年々増加傾向にあり、令和元年度実施時には来場者数が約57,000人となった。区民に対する認知度は着実に高まっている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止となった。令和3年度の開催にあたっては、公会堂とスポーツセンターの天井脱落対策工事のため、複数会場での分散開催など開催場所及び方法の変更が見込まれる。

【実施内容】

- ・青葉区民まつり2021
- ・令和3年11月3日(水・祝)開催予定
- ・青葉区民まつり運営委員会が主催予定
- ・テーマに沿った展示や、地元団体による模擬店、小中高生による演奏・演技、キャラクターショー等

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
青葉区民まつり事業	4,725	4,225	500	開催方法の変更による増
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	4,725	4,225	500	

【根拠とするデータ等】

来場者数 令和元年 約57,000人、平成30年 約56,000人、平成29年 約56,000人

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	鈴木 昇	奥村 晃一	平野 絢子

[青葉 区 地域振興 課]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成13年度
------	-----------	---------	------	--------	--------

事業名 清潔できれいな街事業	特記事項	中期計画-38の政策	事業評価書 番号	該当なし
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	政策番号 主な施策番号	事業評価書 番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,768					1,768
前年度	1,768					1,768
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,696	1,696	1,696	予算	事業費	1,768	1,768
	メリット+一般財源	1,696	1,696	1,696		一般財源	1,768	1,768
決算	事業費	1,609	1,573	1,457	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	1,609	1,573	1,457	有:件名()、日付(年 月)			

無

事業の概要 (目的)	清潔できれいな街づくりを目指し美化対策を推進するとともに、地域の活動を支援します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等

青葉区は「街路樹や公園など整備された緑」や「田園風景や森林・農地」などが多く、恵まれた住環境にあることが特徴です。
その反面、「住宅地の中の雑草の繁茂した空閑地」や「人目の届きにくい農専地区」なども多く、不法投棄やポイ捨てが多く発生しています。区民の高い美化意識を背景に、それらを防止していくため、各地域での不法投棄対策やポイ捨て禁止啓発活動、地域清掃活動支援、街の美化への支援等に取り組んでいく必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	2 陳情	3 地区担当制度	7 関係団体からの要望
-------------	------------	------	----------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針 5 自然と調和した、多世代が住みやすいまち
-------------	---------------------------------------

3 根拠法令・要綱等	・横浜市放置自動車及び沈船等の防止及び適正な処理に関する条例 ・横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱防止等に関する条例 ・青葉まちの美化推進事業補助金交付要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

- ・清潔できれいな街づくりを推進していくためには、不法投棄やポイ捨ての防止に向けた取組と地域の美化活動への支援が必要です。
- ・不法投棄防止のための監視体制の継続を図るとともに、その他防止対策も併せて実施していく必要があります。

【実施内容】

- ・青葉まちの美化推進功労者表彰を毎年実施し、功労者へ感謝の意を表すとともに地域の美化活動への意欲向上を促進します。
- ・地域で行う清掃活動にごみ袋を提供することで街の美化活動を支援します。
- ・青葉まちの美化推進活動への支援として、補助金を各連合自治会に交付します。「ごみネットボックスの設置支援」も継続し、ごみ散乱防止や集積場所の環境維持など街の美化を推進します。
- ・不法投棄監視システムの効率的な運用と、不法投棄防止監視業務を継続します。
- ・環境創造局や資源循環局と連携し、農専地域や不法投棄をされやすい場所に委託業者による夜間監視を継続します。
- ・不法投棄等について、土木、警察、消防、資源循環局青葉事務所と年6回、情報・意見交換会を開催します。
- ・住宅地の空閑地に草木が繁茂している場合、街の美化・不法投棄防止の観点から所有者へ整備をお願いする通知文を送付します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
街の美化推進事業	1,768	1,768	0	
			0	
事業費合計	1,768	1,768	0	

【根拠とするデータ等】

空閑地調査 27年度：12件 28年度：18件 29年度：9件 30年度：11件 元年度：8件

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	石井 廣康	安田 良博	井出 貴博

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成23年度
------	-----------	---------	------	--------	--------

事業名	3R推進事業
-----	--------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,132					1,132
前年度	1,212					1,212
増△減	△80	0	0	0	0	△80

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	1,454	1,345	1,352
メリット+一般財源	1,454	1,345	1,352
決算 事業費	1,364	1,379	1,115
メリット+一般財源	1,364	1,379	1,115

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	1,132	1,132
一般財源	1,132	1,132

方針に関する決裁 種別()
 有・件名()、日付(年月)
 無

事業の概要(目的)	ごみと資源物の総量削減に重点を置き、さらなる3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進を図ります。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

ヨコハマ3R夢プランの更なる推進を図るため、これまでごみの排出に意識を持っていない区民にいかに関心を持っていただき、行動してもらうかが求められます。ごみの分別や3Rの推進について、区民にわかりやすく発信し理解・行動していただけるよう取り組んでいくことが必要です。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針 5 自然と調和した、多世代が住みやすいまち
-------------	---------------------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市廃棄物等の減量化・資源化及び適正処理等に関する条例、ヨコハマ3R夢プラン
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

「ヨコハマ3R夢プラン」は定着してきており、青葉区でもごみの排出量は順調に減少しています。今後もこの傾向を維持していくために、これまでごみの排出に意識がなかった区民へ活動の輪を広げていくことが第3期3R夢プランにおける削減目標(2018~2021で「ごみと資源の総量の削減」マイナス3%)の達成につながると見込まれます。

【実施内容】

- 1 リデュース推進事業
 - ・「ミニ・キエーロ」講習会を継続し、区民の生ごみ減量化活動を支援します。
 - ・「3R夢クッキング・冷蔵庫整理術」による生ごみの発生抑制を推進します。
 - ・地域イベント等で3R推進の啓発を行い、区民の理解を深め活動を促進します。
- 2 リユース等推進事業
 - ・町内会の説明会、小学校の出前事業等、ごみの分別・リユース・リサイクルの啓発を行います。
 - ・区民文庫ボックスをPRし、利用数の増と読書推進を一層進めます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
リデュース推進事業	533	613	△80	実績による減
リユース等推進事業	599	599	0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,132	1,212	△80	

【根拠とするデータ等】

リユース文庫受入数 H27 12,385冊、 H28 14,551冊、 H29 24,837冊、 H30 21,134冊、 R1 20,928冊

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	石井 廣康	安田 良博	井出 貴博

[青葉 区 高齢・障害支援 福祉保健 課]

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成22年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名	災害時要援護者地域支えあい事業
-----	-----------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,168					1,168
前年度	1,161					1,161
増△減	7	0	0	0	0	7

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	616	616	1,493	予算	事業費	1,168	1,168
	メリット+一般財源	616	616	1,493		一般財源	1,168	1,168
決算	事業費	473	726	1,120	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	473	726	1,120	有:件名()、日付(年月)			

(無)

事業の概要(目的)	災害時の避難に困難が予想されている高齢者や障害者の方が、地域とのつながりを深め、災害時の安否確認や避難を円滑に進めていくことを目的とした事業です。
-----------	---

(説明)																																									
1 地域の課題等	<p>高齢者や障害者等の要援護者は、災害発生時の避難等に際して困難が予想されます。加えて、近年多発している震災や風水害によりその必要性は増しています。それらに対応するため、地域における共助の取組を支援し、災害時要援護者の安全・安心を確保につなげる必要があります。また、コロナ禍においても、区民から災害時の避難について不安の声が寄せられることもあるため、感染症対策に配慮しながらも、引き続き実施する必要があります。</p> <p>地域の課題等の収集手段 1 日常の窓口対応等 3 地区担当制度</p>																																								
2 運営方針等との関係	令和2年度運営方針 II 目標達成に向けた施策「2安全で安心して暮らせるまち」																																								
3 根拠法令・要綱等	災害対策基本法、横浜市震災対策条例																																								
【実績の推移・今後見込み】																																									
平成22年度に事業開始以来、区内災害時要援護者数に対する支えあいカード作成数は徐々に増加し、令和元年度末時点で3,039人となっています。今後も災害発生に備えて、支えあいカードの普及啓発を行うとともに、地域向けの個人情報活用研修を実施し、支えあいカードの活用を促します。																																									
【実施内容】																																									
①支えあいカードの広報普及 自治会回覧や広報あおばによる周知の他、新たに災害時要援護者となる方に支えあいカード登録を勧奨するダイレクトメールを発送し、4年ごとに支えあいカード未登録のすべての要援護者に対して同ダイレクトメールを発送します。																																									
②支えあいカード登録希望者への訪問(あんしん情報ボトルの配布) 支えあいカード作成のため民生委員が登録希望者へ訪問する際、支えあいカード保管のためのあんしん情報ボトルを配布します。																																									
③個人情報活用研修 あおば災害ネットの担い手が適切に個人情報を活用し、取組を円滑に進めるための研修を実施します。																																									
④災害時要援護者訓練支援 地域防災拠点や福祉避難所での災害時要援護者の受入等の訓練実施を支援します。																																									
【事業費の内訳】																																									
<table border="1"> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>支えあいカードの広報普及</td> <td>1,063</td> <td>1,023</td> <td>40</td> <td>元年度実績に基づく増</td> </tr> <tr> <td>あおば災害ネット推進委員会</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>0</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>個人情報活用研修</td> <td>45</td> <td>30</td> <td>15</td> <td>元年度実績に基づく増</td> </tr> <tr> <td>災害時要援護者訓練支援</td> <td>52</td> <td>100</td> <td>△48</td> <td>元年度実績に基づく減</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td>0</td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td>0</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>1,168</td> <td>1,161</td> <td>7</td> <td> </td> </tr> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	支えあいカードの広報普及	1,063	1,023	40	元年度実績に基づく増	あおば災害ネット推進委員会	8	8	0		個人情報活用研修	45	30	15	元年度実績に基づく増	災害時要援護者訓練支援	52	100	△48	元年度実績に基づく減				0					0		事業費合計	1,168	1,161	7		
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																																					
支えあいカードの広報普及	1,063	1,023	40	元年度実績に基づく増																																					
あおば災害ネット推進委員会	8	8	0																																						
個人情報活用研修	45	30	15	元年度実績に基づく増																																					
災害時要援護者訓練支援	52	100	△48	元年度実績に基づく減																																					
			0																																						
			0																																						
事業費合計	1,168	1,161	7																																						
【根拠とするデータ等】																																									
災害時要援護者名簿(毎年4月、10月更新)																																									

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 松永 朋美	係長 井上 格	高齢・障害事務 係 井上 格
--------------------	-------------	------------	-------------------

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成7年度
------	-------------	---------	----	--------	-------

事業名	青葉区防災の街づくり事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	9,014					9,014
前年度	9,370					9,370
増△減	△ 356	0	0	0	0	△ 356

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	6,584	6,785	7,561
メリット+一般財源	6,584	6,785	7,561
決 算 事業費	6,506	7,135	7,716
メリット+一般財源	6,506	7,135	7,716

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	9,014	9,014
一般財源	9,014	9,014

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年月)
 (無)

事業の概要(目的)	区防災計画に基づき、「災害時の防災協定」、「医療救護等の対策」、「災害に強い人づくり」、「避難者対策」、「災害時のペット対策」に重点をおき、地域防災力の向上を目指します。あわせて、「減災」及び「自助・共助」の考え方を区民に周知します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症への対応が求められる中、区庁舎や避難所における感染症対策が不可欠です。 近年、大規模な災害が増加している中、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)といった新たな防災情報が導入されるが、それらの情報などを得る機会を増やし、避難行動に対する意識や知識、日ごろの備え等自助意識の向上を図る必要があります。 青葉区独自施策である「定点診療拠点」など、災害時医療体制の充実に向けた関係機関との連携や訓練といった継続的な取組が必要です。 18区中、犬の登録数(15,875頭:令和元年度末時点)及び地域防災拠点数(41拠点)が最も多いため、災害時におけるペット対策が重要な課題となっています。 			
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	6 区民要望	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針 2 安全で安心して暮らせるまち			
3 根拠法令・要綱等	横浜市防災計画・青葉区防災計画			

【実績の推移・今後見込み】

大規模な災害による切迫性が高まる中、新型コロナウイルス感染症対策を含め、区民の防災に対する関心も年々高まっています。自助・共助・公助一体となった災害対策を進め、区民の皆さまの安全・安心を守るため、事業を継続していく必要があります。

【実施内容】

- 災害時の情報伝達手段を充実させるため、地域防災拠点において、通信用端末を整備します。
- 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)や感染症対策を新たに掲載した防災マップを作成し、区民に対して防災情報及び感染症対策を含めた災害への備えを周知します。
- 地域向け講座を引き続き実施し、居住地域の情報を知っていただき、自助意識の向上を図ります。
- 人の「密閉・密集・密接」を回避する形式で、災害を想定した体験型啓発事業を実施し、区民の自助力や地域防災力の向上を図ります。
- 定点診療拠点の防災物品の整備
災害時に定点診療拠点を開設し、診療するために必要な物品の整備を行います。
- 災害医療連絡会議の開催
平時より、医療関係団体や病院関係者のほか、警察や消防関係者、通信事業者が一堂に会し、災害医療体制に関する意見交換や情報共有を行い、災害時に備え連携を強化します。
- Yナース(横浜市災害支援ナース)向け研修会の実施
青葉区に登録しているYナース(横浜市災害支援ナース)向けに研修会を実施し、発災時における実際の活動内容の啓発を行います。
- 災害時ペット対策
市及び区の防災計画に基づいたペットの同行避難について飼い主への周知啓発を実施します。また、地域防災拠点でペット受け入れのルール化に向けた働きかけ、支援を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
横浜防災ライセンス研修会	49	49	0	
青葉区災害対策連絡協議会	51	55	△ 4	開催形式変更による減
地域防災拠点運営委員会連絡協議会総会	19	15	4	開催形式変更による増
職員研修	80	80	0	
防災資機材運用・整備	1,128	1,128	0	
緊急時通信手段の確保	470	410	60	実績見込みによる増
災害対策本部整備	200	1,220	△ 1,020	完了による減
地域防災拠点機能強化事業	1,804	1,000	804	新規事業による増
緊急時情報システム事業	506	506	0	
防災マップ	3,000	3,000	0	
地域向け講座	180	380	△ 200	実績による減
防災協定機関合同訓練	24	24	0	
自助共助推進事業	1,000	1,000	0	
定点診療拠点整備事業	390	390	0	
災害医療連絡会議	6	6	0	
災害時のペット対策	107	107	0	
事業費合計	9,014	9,370	△ 356	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	守屋 大介 (総務) 滝本 潔 (福祉保健) 前橋 昌幸 (生活衛生)	老松 太一 (総務) 神田 紗弥加 (福祉保健) 仲澤 誠人 (生活衛生)	松元 一紘 (総務) 本島 淑恵 (福祉保健)

[青葉 区 地域振興 課]

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	交通安全	事業開始年度	平成17年度
------	-------------	---------	------	--------	--------

事業名	交通安全対策事業
-----	----------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,285					5,285
前年度	4,308					4,308
増△減	977	0	0	0	0	977

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	3,940	3,952	4,042
メリット+一般財源	3,940	3,952	4,042
決算 事業費	3,746	3,756	4,180
メリット+一般財源	3,746	3,756	4,180

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	5,285	5,285
一般財源	5,285	5,285
方針に関する決裁 種別()		
有:件名()、日付(年月)		
無		

事業の概要(目的)	児童生徒、高齢者及び成人を対象とした交通安全教育を中心に交通安全啓発活動を実施し、交通事故件数の減少を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	区内の交通事故を減少させるため、児童等を対象とした交通安全教育、高齢者を中心に自治会・町内会を対象とした交通安全教室、各季の交通安全キャンペーン等を通じて、交通安全の啓発を推進します。
地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針 目標達成に向けた施策 2 安全で安心して暮らせるまち
3 根拠法令・要綱等	スクール・ゾーン推進組織助成金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

青葉区内交通人身事故発生件数及び死傷者数			
	令和元年度	平成30年度	前年比
事故件数	598件	737件	139件減
負傷者数	687人	864人	177人減
死者数	3人	3人	±0

【実施内容】

- 青少年交通安全教育推進事業（区内の全公立小・中学校児童等に対し、交通安全の啓発リーフレットを作成・配布。）
- スクール・ゾーン対策協議会（児童の登下校時の安全を守るため、通学路の危険箇所の点検等をする各小学校協議会への活動助成金の交付。また、危険箇所へのスクールゾーン路面標示等の新設、補修。）
- 交通安全ポスターコンクール（区内小学生を対象に、交通安全に対する意識向上のため、ポスターコンクールを実施、優秀作品を表彰、展示。）
- 青葉区交通安全対策協議会（交通安全知識の向上を図り、交通安全関係団体で構成される協議会総会及び幹事会を開催、功労者の表彰を実施。）
- 広報活動（歩行者・自転車等の交通マナーの意識向上に関する啓発。）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
青少年交通安全教育推進事業	505	517	△ 12	元年度実績による減
スクール・ゾーン対策協議会	4,426	3,427	999	箇所数の変更及び材料・人件費の値上がりによる増
青葉区交通安全対策協議会	354	364	△ 10	元年度実績による減
			0	
事業費合計	5,285	4,308	977	

【根拠とするデータ等】

- 青葉区内公立小学校：30校
- 青葉区内公立中学校：12校

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 鈴木 昇	係長 奥村 晃一	地域活動 係 井出 貴博
--------------------	------------	-------------	-----------------

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費 街づくり推進費	性質・ 課題区分	文化・スポーツ 地域まちづくり	事業開始年度	平成6年度
------	--------------------------	-------------	--------------------	--------	-------

事業名	芸術文化振興事業
-----	----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,368					5,368
前年度	4,867					4,867
増△減	501	0	0	0	0	501

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	4,720	6,020	5,370
メリット+一般財源	4,720	6,020	5,370
決 算 事業費	5,204	6,258	5,099
メリット+一般財源	5,204	6,258	5,099

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	5,368	5,368
一般財源	5,368	5,368

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年月)
 無

事業の概要 (目的)	区内の芸術活動の発表・鑑賞の場を提供することで、芸術・文化を通じた交流を図り、青葉区への愛着を高めます。また、青葉区の財産であるアート資産などを生かし、新たな魅力を発信していきます。
---------------	---

(説明)	
1 地域の課題等	地域の芸術・文化活動が盛んな青葉区において、日頃の活動の成果を展示・発表する場を設け、芸術・文化に親しみ創作する環境を醸成します。また、区内の歴史文化を伝え学ぶ機会や特長的な数々のアート資産を有効的に活用していく機会を創出します。
地域の課題等の収集手段	
2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針 目標達成に向けた施策 重点推進施策4 魅力を高め、発信するまち
3 根拠法令・要綱等	青葉区民芸術祭事業補助金交付要綱、あおば音楽ひろば事業補助金交付要綱、青葉区シニアコンサート補助金交付要綱、あおば美術公募展事業補助金交付要綱、郷土の歴史を未来に生かす事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】						
来場者数(人)	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
あおば美術公募展	1,680	2,025	2,019	2,111	中止	2,200
芸術祭(展示部門)	3,763	3,929	4,658	3,656	オンライン企画を実施	4,700
芸術祭(ステージ部門)	4,800	4,637	4,777	6,464	500(音楽祭)、動画等配信(コーラス)、紹介冊子作成(芸能祭)等	4,800
あおば音楽ひろば	1,715	1,568	1,516	1,689	会場工事による休止	1,700
シニアコンサート	1,148	1,332	1,201	804	300(一部中止)	1,300

【実施内容】	
1 あおば美術公募展事業	区民のさらなる創造意欲の向上や交流をめざし、横浜市民ギャラリーあざみ野で、市民協働による青葉区らしい美術公募展を開催します。 令和3年5月下旬 作品募集締切 7月上旬 出品作品受付・審査 展示、表彰式・講評会
2 青葉区民芸術祭事業	地域の芸術文化振興を目的として、フィリアホール、横浜市民ギャラリーあざみ野等で各種芸術イベントを開催します。 青葉コーラスのつどい(7月)、青葉区民音楽祭(10月～1月頃)、青葉区民作品展(11月頃)、青葉区民芸能祭(12月)の開催
3 区民ホールコンサート事業	あおば音楽ひろば事業 原則第3水曜日に、区役所1階区民ホールにおいて、お昼のミニコンサートを開催します。
4 シニアコンサート事業	65歳以上の音楽愛好家が出演者となりイベントを年2回(8月、2月)開催
5 郷土の歴史を未来に生かす事業	地域の歴史文化に触れる機会を提供し、未来に引き継ぐため、歴史に関する講座や講演会などを実施します。 公開講座(年2回程度)、連続講座(年1回程度)
6 AOBAデジタル・アートミュージアム	・ホームページを通じ、青葉区の特徴的な魅力としてのアート資産を外部に発信していきます。 ・幅広く区民の作品などを掲載し、閲覧数の向上を図ります。 ・ミュージアムに掲載されているアート作品・文化財を巡るツアーを企画します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
青葉区民芸術祭事業	2,680	2,680	0	
区民ホールコンサート事業	650	249	401	事業再開による増
シニアコンサート事業	400	400	0	
あおば美術公募展事業	1,050	950	100	会場設営費などの増
郷土の歴史を未来に生かす事業	100	100	0	
AOBAデジタル・アートミュージアム	488	488	0	
事業費合計	5,368	4,867	501	

【根拠とするデータ等】

各イベントの入場者数集計、会場でのプログラム配布数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	文化・コミュニティ係
	鈴木 昇	宮澤 ゆう子	大柿 沙織

(青葉 区 - 22)

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	生涯学習	事業開始年度	平成16年度
------	---------------	---------	------	--------	--------

事業名	区民活動支援センター事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,390					3,390
前年度	3,509					3,509
増△減	△ 119	0	0	0	0	△ 119

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	2,357	2,357	3,829
メリット+一般財源	2,357	2,357	3,829
決 算 事業費	2,379	2,328	3,256
メリット+一般財源	2,379	2,328	3,256

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	3,390	3,390
一般財源	3,390	3,390

方針に関する決裁 種別()
有 件名 ()、日付 (年 月)
無

事業の概要 (目的)	区民活動支援センターにおける相談・コーディネートや自主事業の開催を通じて、区民の自主的な市民活動と生涯学習の総合的支援を行います。
------------	---

(説明)	
1 地域の課題等	<p>・今後の急速な少子高齢化・人口減少に向けて、区民の皆さんに青葉区の将来のために一歩踏み出していただく事業「ソーシャルパワーの発揮」の一環として、市民活動のきっかけ作りや団体間の交流促進を担う役割が求められています。</p> <p>・区民一人ひとりの地域参加や地域貢献への関心の高まりを受け、窓口での活動紹介や、団体・個人の活動に関する相談・コーディネート、登録講師のニーズマッチングなど、より適切な情報提供と感度の高い情報収集力が必要とされています。</p> <p>・市民活動の活性化を促進するための支援や、行政と対話・連携して力を発揮するための支援を行う必要があります。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針 3 さまざまな人や活動がつながる、活力のあるまち
3 根拠法令・要綱等	横浜市市民活動推進条例(平成12年6月) 生涯学習振興法、横浜市生涯学習基本構想(昭和63年5月) 青葉区区民活動支援センター要綱(平成17年3月) 青葉区区民活動支援センター事務取扱要領(平成17年3月) 区民交流センターまつり補助金交付要綱(平成18年9月)

【実績の推移・今後見込み】					
	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
まち活カフェ		3回 77人	7回 118人	5回 75人	8回 120人
団体交流イベント・フォーラム	64人	54人	30人	35人(含オンライン)	40人
登録講師・団体パネル展示	4か所	常設	常設	常設	常設
登録講師体験講座	71人(8講座)	37人(6講座)	中止	動画配信	100人
市民活動支援講座	2講座 50人	—	1講座 29人	2講座 40人	2講座 40人
登録団体活動発表(来場者)	57人	—	286人	動画配信	200人
青葉区民まつり(支援センターブース)	—	—	301人	中止	300人

- 【実施内容】
- 相談・コーディネート、情報収集・提供
 - 市民活動・生涯学習に関する相談を受け付け、区内で活動する団体や生涯学習に関する講師等について、情報提供及びコーディネートを行います。
 - 活動に役立つ情報や地域の活動団体情報等をまとめた情報紙「Infoまち活」を発行します。
 - 市民活動・生涯学習支援
 - 市民活動に関する交流会や活動団体・登録講師PRパネル展示、登録講師体験講座等を実施し、市民活動や生涯学習に関心のある区民の皆さんに活動を始めるきっかけをつくるとともに、活動の活性化を図ります。
 - 団体交流イベント等の開催
 - 市民活動・生涯学習に携わる様々な分野で活動している人や団体を対象とした交流イベントを開催し、交流や情報交換を促し、活動を広げる場とします。
 - 活動を広く区民の皆さんにPRする活動発表の場を提供します。
 - コーディネート機能強化
 - 外部コンサルタントによる伴走支援を受け、センターの機能強化を図ります。
 - 情報収集と関係構築のため、積極的に区内施設や活動団体等を訪問し、コーディネートに生かします。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
コーディネート・情報提供	1,610	1,685	△ 75	特別号情報紙発行済による減
市民活動・生涯学習支援	1,030	1,084	△ 54	実績による減
区民交流センターまつり	200	200	0	
コーディネート機能強化	250	410	△ 160	内容の見直しによる減
センター施設整備	300	130	170	設備見直しによる増
			0	
事業費合計	3,390	3,509	△ 119	

【根拠とするデータ等】

各区市民活動支援センター相談統計及び設備・機材等利用統計、登録団体数、登録講師数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	文化・コミュニティ係
	鈴木 昇	宮澤 ゆう子	水谷 暁美

(青葉 区 - 23)

[青葉 区 地域振興 課]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	地域スポーツ振興事業
-----	------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	7
主な施策番号	1, 2, 6

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,800					3,800
前年度	3,800					3,800
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	2,800	2,800	3,200
予算 メリット+一般財源	2,800	2,800	3,200
決算 事業費	2,800	2,800	3,511
決算 メリット+一般財源	2,800	2,800	3,511

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	3,000	3,000
予算 一般財源	3,000	3,000

方針に関する決裁 種別()

有:件名()、日付(年月)

無

事業の概要(目的)	区民が主体となって運営するスポーツ振興団体やスポーツ振興イベントの支援や実施を行い、また区民が気軽にスポーツ文化に親しむ機会を通じて、より健康で豊かな暮らしができる環境づくりを進めます。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

・スポーツ振興において行政と共にその役割を担う青葉区体育協会など地域スポーツ団体については、区民がスポーツに親しむ機会を継続して提供していくためにも必要不可欠な存在となっています。加えて、新たな担い手を各団体で発掘・育成していけるような側面的な支援が求められています。

・コロナ禍の終息が未だ見えないなか、区民が参加するスポーツイベントが中止や延期となり、運動不足や体力低下を懸念される区民の課題解決に応えるため、「新しい生活様式」に即しつつ、気軽に参加できるスポーツ体験の場や、継続して技術を磨くことができる場を提供していくことが必要です。

・長寿日本一にも輝く青葉区民は、スポーツや健康に対する意識が高いため、魅力あるスポーツイベントの企画や積極的な情報発信がこれまで以上に求められています。

・令和3年度においては、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されることから、地元ゆかりのある選手を応援する企画等を通じて、「スポーツを通じたつながり」「地元に対する愛着や誇り」の形成に努めます。また大会を一過性のものとせず、実施されたことによって認識されたスポーツの社会的な価値を、青葉区内において継承していくことが求められています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望		
-------------	------------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針 目標達成に向けた施策 1 誰もがいきいきと、健やかに暮らせるまち
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	・スポーツ基本法 ・青葉区体育協会補助金交付要綱 ・青葉区体育協会会則 ・青葉区民マラソン補助金交付要綱 ・横浜スポーツ推進計画 ・ラグビーワールドカップ2019・東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた横浜ビジョン
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

事業の指標	29年度	30年度	R元年度	R2年度	3年度予定	4年度予定
区体育協会 種目(団体数)	18	18	17	17	17	17
スポーツ振興イベント(区民マラソン大会) 募集人数(人)	800	1000	1000	500	1000	1000

※R2年度はオンライン方式によるチャリティーランを実施

【実施内容】

1、青葉区体育協会の支援
17の加盟団体からなる青葉区体育協会へ補助金を支出し、協会の自立化及び体育協会主催の活動・各種体育協議会・講習会の開催などにより区内スポーツの振興を行い、区民の健康増進・体力づくりの機会確保の機会を提供します。東京2020オリンピック・パラリンピック機運醸成のため、区と連携して、地域住民のスポーツ意識がさらに向上するようなスポーツ振興活動を図ります。

2、スポーツイベント（青葉区民マラソン大会）の実施

区民の健康維持につながる生涯スポーツ及び地域スポーツの振興を目的とし、かつ「新しい生活様式」を取り入れたマラソン大会を実施します。安全な大会運営に取り組むことはもとより、運営委員である連合自治会・町内会長と連携し、地域住民の理解・協力を得ながら、各公共機関、各地域活動団体、学校、企業とともに、大会の盛り上げ・広報を進めていき、人と地域のつながりづくりの裾野を広げます。

3、オリンピック・パラリンピック機運醸成

大会期間中に区民利用施設でパブリックビューイングを行うことで、両大会の機運を醸成し、区民のスポーツに対する関心を高めます。加えて、区内の大学と積極的に連携し、地元にゆかりのある選手を紹介・応援することで、スポーツを通じた地域のつながりづくり、活力ある地域づくりの促進に努めます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
体育協会補助金	800	500	300	名称変更に伴う実費の増
スポーツ振興イベント	2,500	2,800	△ 300	実績による減
オリンピック・パラリンピック機運醸成	500	500	0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	3,800	3,800	0	

【根拠とするデータ等】

青葉区民マラソン大会の募集人数 平成29年度 800人 平成30年度 1,000人 令和元年度 1,000人

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	文化・コミュニティ係
	鈴木 昇	高橋 暁子	岩崎・柴田

[青葉 区 こども家庭支援 課]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	生涯学習	事業開始年度	平成26年度
------	---------------	---------	------	--------	--------

事業名	地域での読書活動推進事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	25
主な施策番号	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	315					315
前年度	1,915					1,915
増△減	△ 1,600	0	0	0	0	△ 1,600

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	800	1,000	1,715
メリット+一般財源	800	1,000	1,715
決算 事業費	559	592	1,693
メリット+一般財源	559	592	1,693

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	315	315
一般財源	315	315

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
無

事業の概要(目的)	青葉区民読書活動推進目標の実現に向け、山内図書館、区民利用施設等と連携しながら、本に親しむ環境作りに加え、区内の施設や読書活動ボランティア同士の連携を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	1 読書活動推進団体のネットワークづくり、担い手づくり 2 図書貸出施設の整備要望
地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	青葉区運営方針 目標達成に向けた施策 重点推進施策3 さまざまな人や活動がつながる、活力のあるまち
3 根拠法令・要綱等	横浜市民の読書活動推進に関する条例

【実績の推移・今後見込み】

参加者数

	H29	H30	R元	R2見込み	R3見込み
読書団体交流会	61	27	42	50	50
読書講演会	162	100	0	130	130

【実施内容】

- 各取組の実施にあたっては、感染症拡大防止に努め、オンラインでの実施も検討します。
- 1 広報
区内読書関連施設における読書推進イベントを掲載したカレンダーをホームページに掲載します。また広報よこはま青葉区版における行事案内の掲載や、区内読書関連施設や読書活動団体、読書活動推進目標を掲載したリーフレットにて広報普及啓発を行います。
 - 2 ネットワークづくり等
区内の施設や活動団体のつながりを深める会議等を開催します。また、区内15施設に対し蔵書の充実を図るため図書類を更新します。(年1回)。
 - 3 講座開催
施設やボランティア団体と連携し、読書活動推進に係る講座を開催します(年1回)。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
広報	48	148	△ 100	読書目標・施設マップ減
ネットワークづくり	161	161	0	
講座開催	106	106	0	
図書返却ポスト修繕	0	1,500	△ 1,500	終了による減
事業費合計	315	1,915	△ 1,600	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	学校連携・こども担当
	佐々井 正泰	三根 友香	古庄 理紗

[青葉区 福祉保健課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	乳幼児健康づくり事業	特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	中期計画-38の政策	政策番号 主な施策番号	事業評価書番号	該当なし
-----	------------	------	--	------------	----------------	---------	------

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,552					2,552
前年度	2,258					2,258
増△減	294	0	0	0	0	294

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	2,451	2,342	2,309	予	事業費	2,452	2,452
算	メリット+一般財源	2,451	2,342	2,309	算	一般財源	2,452	2,452
決	事業費	2,025	2,122	1,894	方針に関する決裁 種別() 有・件名()、日付(年月) 無			
算	メリット+一般財源	2,025	2,122	1,894				

事業の概要 (目的)	・歯みがき実習を行うことにより、う蝕予防の具体的な啓発を行うとともに、乳幼児のう蝕予防に対する全般的な知識を普及します。養育不安を持つ保護者に対して、歯科的な不安の解消だけでなく、歯科保健事業を通して関係職種や地域へのパイプ役を担います。 ・食育基本法に基づく施策として、乳幼児期の食育を推進します。
------------	---

(説明)							
1 地域の課題等	・「乳幼児歯科相談」におけるニーズを相談者の年齢別で見ると、1歳前後が最も多く、歯科医師による歯科健診よりも、歯みがきの方法を希望される方が多い状況があります。また、1歳前後は歯の萌出時期でもあり、養育者にとっても歯みがきに対する不安が大きい時期です。この時期に、う蝕予防に対する知識や技術を習得する場を提供していく必要があります。 ・乳幼児期の食育は、食のスタート時期である離乳期から就学前の期間に、正しい食習慣を身につけ健全な食生活が実現できるための積極的な支援が求められています。食に関する情報が氾濫するなかで、正しい情報を入手し、適切な食行動に結びつくよう支援します。						
地域の課題等の収集手段	6 区民要望 1 日常の窓口対応等						
2 運営方針等との関係	誰もがいきいきと、健やかに暮らせるまち						
3 根拠法令・要綱等	母子保健法、健康増進法、食育基本法、健康日本21、健康横浜21、すこやか親子21						
【実績の推移・今後見込み】							
1 1歳児の歯の教室							
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度見込み	3年度見込み
参加数	482組968人	392組789人	371組755人	325組654人	227組459人	146組292人	146組292人
【実施内容】							
幼児のう蝕予防に対する知識を普及します。母子感染の観点で保護者を対象にむし歯予測テストや実際に子どもへの歯みがき実習を行っていましたが、コロナの影響により実習は中止し現在は講話がメインです。会場で実施することに制限が多いため自宅で実施できる保健指導用品の配布を予定しています。参加者にアンケートにて歯科保健に関するニーズ調査を行い今後の事業展開に役立てます。							
(実施会場・時期・回数)							
会場	福保センター	地域ケアプラザ					
時期	10回(4~7月以外)	希望会場2回					
2 乳幼児期の食育支援事業							
年度	28年度実績	29年度実績	30年度	元年度	2年度見込み	3年度見込み	
参加数	1,170組	960組	6,294組	5,628組	5,500組	5,500組	
【実施内容】							
内容	回数	会場	対象				
講話と相談 離乳食スタート講座 離乳完了～幼児食の移行講座 幼児食育講座	乳健時に開催 年26回 年27回 年33回	区福祉保健センター	4か月から6か月児 1歳から2歳児 3歳から5歳児				
【事業費の内訳】							
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明			
1歳児の歯の教室	1,019	823	196	事業見直しによる増			
乳幼児の食育支援事業	1,533	1,435	98	実績による増			
事業費合計	2,552	2,258	294				
【根拠とするデータ等】							

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	滝本 潔	大友 靖子	美甘、大谷、三賢、日高

[青葉 区 子ども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成8年度
------	----------------	---------	-------	--------	-------

事業名
児童虐待・DV対策事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
30	1
30	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,208					2,208
前年度	2,558					2,558
増△減	△ 350	0	0	0	0	△ 350

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	294	454	638
メリット+一般財源	294	454	638
決 算 事業費	304	454	630
メリット+一般財源	304	454	630

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	2,208	2,208
一般財源	2,208	2,208

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年 月)
 無

事業の概要 (目的)	児童虐待の発生予防と早期対応に向けた体制強化を行います。DVや離婚など女性福祉相談への支援を行います。
------------	---

(説明)

1 地域の課題等	児童虐待の未然防止や重篤化防止のため、養育者の不安に対する個別対応の充実、支援が必要な養育者に対する専門性の高い支援の充実が必要とされています。女性福祉相談で対応する内容は、配偶者・パートナーからの身体的・精神的な暴力だけでなく、経済的な不安や子供への虐待が伴うなど、内容は複雑かつ多岐にわたっています。DVや離婚等の問題は法律にかかわる部分が多く、専門的知見からの支援が必要です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度運営方針 II目標達成に向けた施策「1 誰もがいきいきと、健やかに暮らせるまち」
3 根拠法令・要綱等	母子保健法、児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律、横浜市子ども・子育て支援事業計画、配偶者からの暴力防止及び被害者の保護等に関する法律

【実績の推移・今後見込み】			
事業名	R元	R2 (見込)	R3 (見込)
一時預かり事業所連絡会	1回	1回	1回
支援強化検討会	2回	2回	2回
DV専門相談	24回	24回	24回

- 【実施内容】
- 児童虐待対策事業
児童虐待の未然防止に向けた相談がより気軽に利用できるよう、保育付きで相談できる環境を整えます。また、一時預かり事業所連絡会(年1回)及び支援強化検討会(年2回)を開催し、急増する児童通告や相談へ迅速・適切に対応できるよう、体制強化を図ります。
 - DV専門相談事業
DVや離婚等に詳しい弁護士による法律相談を月2回(年24回)実施し、離婚や親権等の法律問題の解決を図ります。
 - 子ども・家庭支援相談
相談窓口について周知をするためリーフレットを作成します。※発行部数：12,000部

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
児童虐待対策事業	1,710	2,060	△ 350	一時託児の初年度費用減
DV専門相談事業	370	370	0	
子ども・家庭支援相談	128	128	0	
			0	
			0	
事業費合計	2,208	2,558	△ 350	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭 子育て支援担当 係 柿澤 薫 林 昂輝
	椎葉 桂子	豊倉 麗子 遠藤 和子	

[青葉 区 こども家庭支援 課]

Table with 5 columns: 予算区分 (子育て・子ども・青少年育成費), 性質・課題区分 (子育て支援), 事業開始年度 (平成8年度)

Table with 2 columns: 事業名 (子育て支援事業)

Table with 2 columns: 特記事項 (中期計画-38の政策, 行政運営, 財政運営, 重点事業, 新規・拡充, 温暖化対策関連事業)

Table with 2 columns: 中期計画-38の政策 (政策番号, 主な施策番号)

Table with 2 columns: 事業評価 (書番号, 該当なし)

(単位: 千円)

Table with 6 columns: 区分, 金額, 財源内訳 (国・県, 諸収入), 一般財源

Table with 4 columns: 歳出 (平成29年度, 平成30年度, 令和元年度)

Table with 3 columns: 歳出 (令和4年度, 令和5年度)

方針に関する決裁 種別() 有:件名(), 日付(年月) 無

Table with 2 columns: 事業の概要 (目的), 子育て世代が多い青葉区...

Table with 2 columns: (説明) 1 地域の課題等, 2 運営方針等との関係, 3 根拠法令・要綱等

Table with 9 columns: 実績の推移・今後見込み (事業名, 内容, H28, H29, H30, R元, R2見込, R3見込)

Table with 2 columns: 【実施内容】 1 つながりミーティング, 2 地域育児教室, 3 地域子育て情報提供, 4 赤ちゃん休憩室, 5 乳幼児健診ふれあい見守り保育, 6 パパの子育て教室

7 子育て支援ネットワーク連絡会

区内の子育て支援を担う機関・団体等が集まり、子どもや子育てに関する課題や情報の共有を図り、連携を強化します。

地域の特性を踏まえ、より身近な地域でのネットワークが構築できるよう、地域子育て支援拠点や地域ケアプラザと連携し、地区別での連絡会やミニ拠点ひろばを開催します。

8 こどもの育ち応援事業

転入者等に対して、青葉区の子育ての魅力を発信するため、子育て発見ツアーを地区ごとで開催できるように講座を開催します。また、区内の子育て情報を提供するため、子育て情報誌を改訂・印刷します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
つながりミーティング	22	22	0	
あおばこどもシステムフォーラム開催	0	300	△ 300	事業終了による減
地域育児教室	1,056	956	100	感染症予防対策による増
地域子育て情報提供	3,444	3,073	371	実施方法の変更による増
赤ちゃん休憩室	404	404	0	
乳幼児健診ふれあい見守り保育	477	413	64	感染症予防対策による増
パパの子育て教室(両親教室)	1,147	1,147	0	
子育て支援ネットワーク連絡会	128	299	△ 171	他事業との統合による減
こどもの育ち応援事業	1,811	1,737	74	印刷物統合による増
事業費合計	8,489	8,351	138	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子育て支援担当 係
	椎葉 桂子	大木 智賀子	横溝 友香

[青葉 区 こども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	保育園子育てスマイル事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	3
23	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,590		29			2,561
前年度	639		52			587
増△減	1,951	0	△ 23	0	0	1,974

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	573	590	662	予算	事業費	2,590	2,590
	メリット+一般財源	547	543	610		一般財源	2,561	2,561
決算	事業費	526	551	556	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	492	494	529	有:件名()、日付(年月日)			

事業の概要(目的)	市立保育所が、妊婦や在宅で子育てをしている乳幼児の保護者を対象に、コロナ禍におけるニーズに合わせた「つながり」を作る育児支援を実施し、子育ての不安や悩みの解消や家庭での育児力の向上を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	青葉区はこどもの人口が市内で多いうえ、転出入の割合が高く子育て世帯が孤立しがちであり、子育てに対する負担や不安感を抱えている養育者が多い状況にあります。特に現在は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛に伴い、この傾向が強まっています。このため、地域における「新しい生活様式」に対応した「つながり」を感じられる育児支援の充実を図り、安心して子育てできる環境を作ることが必要とされています。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度運営方針 II 目標達成に向けた施策 「1 誰もがいきいきと、健やかに暮らせるまち」
3 根拠法令・要綱等	児童福祉法第四十八の四 青葉区子育て応援保育園事業実施要綱

【実績の推移・今後見込み】

実施内容	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
ひだまり広場(組)	537	544	502	424	315	277	450	-
保育園給食体験(旧ふれあい給食)(食)	125	131	136	160	177	84	160	88
青空おでかけパーク(組)	89	133	145	100	83	59	100	-

【実施内容】

- 子育て応援保育園
市立保育所が、地域の身近な相談相手として保育のノウハウや育児支援に関する情報を提供します。インターネットを利用した育児関連の動画の配信や、Web会議システムを利用した育児相談やイベント等の実施を含め、ICTとリアルな場をポータルサイト等をつなぎ、需要者が選べる形で保育資源を共有します。
これにより、新しい生活様式でも地域とのつながりを感じながら孤立することのない育児環境を作ります。
- 保育園給食体験
地域の乳幼児やその保護者に、保育園の給食を体験してもらうとともに、保育士、調理師が食育や乳幼児食の助言を行うことで、食を通じた保育園体験と育児支援を行います。

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
子育て応援保育園	2,507	517	1,990	新生活に対応するための増
保育園給食体験(旧ふれあい給食)	83	107	△ 24	荏田北保育園の民間移管による減
青空おでかけパーク	0	15	△ 15	事業終了による減
			0	
			0	
事業費合計	2,590	639	1,951	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	保育担当
	佐々井 正泰	吉村 昇	神宮 小百合

[青葉 区 こども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成8年度
------	----------------	---------	---------	--------	-------

事業名	青少年育成事業
-----	---------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
29	1,4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	307					307
前年度	1,007					1,007
増△減	△700	0	0	0	0	△700

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	235	430	384
メリット+一般財源	235	430	384
決 算 事業費	215	426	169
メリット+一般財源	215	426	169

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	307	307
一般財源	307	307

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	学齢期・青年期に至るまで、切れ目のない支援体系を構築し、青少年育成の充実を図ります。また、地域における連携のもとでの支援を一層促進します。これらにより、地域力の充実・強化を図り、活力あるまち・さらなる魅力的なまちづくりと将来への継承に寄与します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>・18区で学校数が最も多い青葉区では、これまでの取組により、地域で学校を支える体制が整っていますが、地域力を将来世代に継承する一層の取組は不可欠であり、関係機関・団体等が有機的に連携していく仕組みづくりが必要です。</p> <p>・市ヶ尾ユースプロジェクトを踏まえ、青少年が普段なかなか交流することのできない地域の大人などと接することで自己肯定感や社会性を得られるよう、今後も家庭・学校以外で多様な大人、異世代との交流を通じた青少年の健全育成を推進する必要があります。</p>		
地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	6 区民要望	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	区運営方針「1 誰もがいきいきと、健やかに暮らせるまち」 「3 さまざまな人や活動がつながる、活力のあるまち」		
3 根拠法令・要綱等	児童福祉法、子ども・子育て支援法		

【実績の推移・今後見込み】

1 あおばこどもシステム・青少年支援部会の開催

実施回数

	H29	H30	R元	R2見込	R3見込
青少年支援部会	4	4	2	4	4

【実施内容】

1 つながりミーティング「青少年支援部会」の運営
関係機関・団体等の代表からなる「青少年支援部会」を開催し、各団体間の連携促進による一層の青少年支援を図ります。

2 異世代交流等による青少年育成事業
中高生については「青少年の地域活動拠点」と連携し、自立や成長を支援します。また、小学生については、拠点や青少年指導員などの関係機関と連携し、異世代交流の機会を提供することで、健全育成を推進します。
また、小1の壁の不安軽減につながる講演や参加者同士の交流を通じて、孤立しない子育て環境づくりを推進します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
つながりミーティング「青少年支援部会」の運営	7	7	0	
異世代交流等による青少年育成事業	200	1,000	△800	一部事業の移管による減
	100	0	100	保護者向けの講演会実施
事業費合計	307	1,007	△700	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	学校連携・こども担当 係
	佐々井 正泰	三根 友香	高橋 大

[青葉 区 福祉保健 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成17年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名	地域福祉保健推進事業
-----	------------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,494					2,494
前年度	4,245					4,245
増△減	△ 1,751	0	0	0	0	△ 1,751

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	1,682	1,851	1,864
メリット+一般財源	1,682	1,851	1,864
決 算 事業費	1,256	1,139	836
メリット+一般財源	1,256	1,139	836

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	2,494	2,494
一般財源	2,494	2,494

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域と協働して課題解決に取り組み、身近な地域で支えあいの仕組みづくりを進めることを目的に、第4期地域福祉保健計画を策定します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

少子高齢社会の中、地域の課題も多様化・複雑化しており、地域の状況に応じた課題解決が必要になっています。青葉区でも、2025年には高齢化率が25.0%になると推計されており、超高齢社会を迎えます。第4期計画の策定及び推進にあたっては、「次世代に継承する『地域のつながり』のあるまち」「住み慣れた地域で誰もが安心して健やかに暮らせるまち」といった区域全体に共通するテーマに沿った取組を推進し、今後も引き続き、お互いの顔が見え、支えあい安心して暮らせるまちづくりを進めていくことが必要です。

地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度	4 地区懇談会	5 区民アンケート
-------------	----------	---------	-----------

2 運営方針等との関係 令和2年度運営方針「3 さまざまな人や活動がつながる、活力のあるまち」

3 根拠法令・要綱等 社会福祉法(107条)・・・市町村地域福祉保健計画の策定
青葉区地域福祉保健計画地区別計画推進活動補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】
青葉区地域福祉保健計画の策定・推進状況

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
第4期計画(予定)	策定		策定完了				
			推進				

【実施内容】

(1) 地域福祉保健推進会議の開催
区内福祉保健関係機関の代表者が集まり、地域福祉保健事業の情報共有・意見交換及び地域福祉保健計画の策定及び推進状況の報告を行います。
実施回数：年2回(7月、12月頃予定)

(2) 地域福祉保健計画策定委員会の開催
地域福祉保健推進会議の分科会として、地域活動団体代表、学識者経験者などで構成する「地域福祉保健計画策定委員会」を設置し、第4期地域福祉保健計画の検討・策定を行います。
実施回数：年2回(6月、12月頃予定)

(3) 福祉保健活動事例発表会の開催
第4期地域福祉保健計画策定にあたり、広く周知をするとともに、地域の福祉保健活動の活性化のため、事例発表会を開催します。
実施回数：年1回(時期：令和4年2～3月頃予定、場所：公会堂が工事のため未定) 対象者：青葉区民

(4) 地区サポートチームの強化
①地区サポートチーム研修会
地区サポートチームの地域支援の機能強化を図るため、職員研修会を開催します。(実施回数：年2回)
②地区サポートチーム会議(各地区年4回程度)
地区別計画推進にあたり、各地区サポートチームで効果的に支援していくため、チーム会議を開催します。アドバイザーのチーム会議への参画を通じ、地域課題の把握と支援のアプローチについて助言をもらいながら進めていきます。

(アドバイザー参加回数：年1回×15地区)

③事務局会議(随時)

地区別計画の推進及び地域福祉保健活動の活性化のため、区社会福祉協議会と会議を行います。

(5)若い世代への地域福祉保健計画のPR

将来の担い手でもある中学生に向けて、地域でのつながりの大切さや地域への愛着に関心が持てるよう、若い世代向けの啓発を行っていきます。

(6)第4期地福計画策定

区計画P Jや地区別推進会議の実施等を通じて、第4期地福計画を策定します(令和4年1月以降予定)。

(7)あおばデビュー応援セミナー

区社協や地域ケアプラザとも連携しながら、よりボランティア等の担い手育成にも重点をおいたプログラムとなるよう講座内容を充実させ、実施します。

(8)ふれあい見守り事業

「高齢者いきいき支援事業」から引き続き、概ね70歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等を月に1回程度、訪問や見守り活動を実施し、必要に応じて区や地域包括支援センターに連絡し、在宅の福祉サービスなどにつなげていきます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域福祉保健推進会議	84	126	△ 42	計画策定完了に伴う減
地域福祉保健計画策定委員会	33	49	△ 16	計画策定完了に伴う減
福祉保健活動事例発表会	220	220	0	
地区サポートチーム研修会	60	60	0	
地区サポートチームアドバイザー謝金	180	909	△ 729	計画策定完了に伴う減
啓発パンフレット作成等	503	253	250	新規版下作成による増
第4期計画策定	650	1,869	△ 1,219	計画策定完了に伴う減
あおばデビュー応援セミナー	563	558	5	チラシ印刷による増
青葉ふれあい見守り事業	201	201	0	
事業費合計	2,494	4,245	△ 1,751	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	事業企画・運営企画 係
	滝本 潔	神田 紗弥加	小池 由季 藤 敦彦

[青葉 区 福祉保健 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成17年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名
青葉区健康長寿のまちづくり支援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,398					4,398
前年度	5,162					5,162
増△減	△ 764	0	0	0	0	△ 764

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費	3,306	3,004	5,047
決算 メリット+一般財源	3,306	3,004	5,047
予算 事業費	2,718	2,060	4,272
決算 メリット+一般財源	2,718	2,060	4,272

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	4,498	4,498
決算 一般財源	4,498	4,498

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年月)
 無

事業の概要(目的)	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命の延伸を目指し、乳幼児期から高齢期まで継続して生活習慣の改善等の健康づくりを実践できるよう支援します。啓発事業やイベントを通じ区民の健康に関する意識を高めるとともに、身近なところで気軽に健康づくりを実践できるよう、青葉区の特徴を生かした健康づくりの取組を展開します。 災害時における健康保健対策について、区民に普及啓発を行います。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	<p>・平成30年4月に厚生労働省が発表した「平成27年市区町村別生命表」により、青葉区は男性の平均寿命が全国1位、女性が9位となりました。一方で健康寿命と平均寿命の差は男女ともにひらきがあり、「健康寿命の延伸」が課題です。区民が身近なところで気軽に健康づくりを実践し、「あおばに住んで、健康、長生き」を実感できるよう、青葉区の特徴を生かした健康づくりの取組を進めることが重要です。豊かな緑と美しい街並みを生かしたウォーキング推進や、生活習慣病を早期発見するための特定健診受診率向上などの取組が求められています。また、健康寿命を延伸するためには、生活習慣の改善や生活習慣病の予防に加え、フレイルの早期発見やロコモティブシンドロームの予防等により自立期間を保つことが必要です。健康長寿のカギと言われているオーラルフレイル予防についても、早期に発見し口腔周囲筋のトレーニングを始めることにより進行を予防改善することができると言われてはいますが、まだまだ区民への周知度が低い状況にあり、区民に幅広く普及啓発する必要があります。</p> <p>・大規模災害はいつ起こるかわかりません。災害時に被災者の避難所生活が長引くと、被災高齢者の肺炎が増加します。(厚労省健康安全・危機管理対策総合研究推進事業より) また肺炎は、災害関連死の原因として上位をしめています。肺炎の中でも誤嚥性肺炎は、口腔ケアが大切な予防策のひとつとなっています。また青葉区は、発災後自宅で生活する割合が高い(70%)ことが想定されています。日頃からの食に関する備蓄、調理の工夫を知り、バランスの良い食事を心がけることが大切であり、これは感染症対策にも有効とされています。</p>
地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート
2 運営方針等との関係	誰もがいきいきと、健やかに暮らせるまち
3 根拠法令・要綱等	健康増進法、食育基本法、健康日本21、健康横浜21、健康づくり月間事業の実施及び同事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】						
	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込
健康フェスティバル参加者	6,078人	6,147人	6,056人	5,544人	中止	6,000人
健康づくり推進事業				7,000部	6,000部	6,000部
ウォーキング普及啓発事業参加者	1,386	2,036	2,071人	2,000人	1,000人	2,000人
食育推進普及啓発事業	69人	80人	201人	523人	120人	120人
地域人材育成事業	79人	36人	33人	50人		
大学と進める健康増進推進事業	415人	156人	258人	133人	中止	150人
青葉区国民健康保険特定健診受診率向上事業				10,000人	10,000人	10,000人
オーラルフレイル予防普及啓発事業				200人	100人	100人
防災、知ろう！健康づくり事業(リーフレット配布状況)(やさしい日本語4か国語配布状況)	1,861人(5,600部)(400部)	1,348人(4,800部)(100部)	1,584人(14,000部)(100部)	1,040人(15,000部)(200部)	1,500人(15,000部)(200部)	1,500人(15,000部)(200部)

【実施内容】

- 1 健康フェスティバル事業
保健・衛生関係団体を中心とする諸団体の参加による健康啓発イベントを開催します。
- 2 健康づくり推進事業
気軽に健康づくりが実践できる場や機会を紹介するパンフレットを発行し、青葉区の特徴を生かした健康づくりの取組を発信します。
- 3 ウォーキング&ロコモ予防普及啓発事業
保健活動推進委員会や食生活等改善推進委員会、スポーツ推進員と連携し、ウォーキングやロコモ予防の普及啓発を行います。
- 4 食育推進普及啓発事業
健康づくりに役立つ食を中心とした講習会を食生活等改善推進委員会に委託して開催します。
- 5 大学と進める健康増進推進事業
区内大学との協定を基軸として、区民への健康増進を普及を目的に、大学の教育・研究機能を生かしながら、ウォーキングイベント等を連携して実施します。
- 6 青葉区国民健康保険特定健診受診率向上事業
保健活動推進員等と連携し、地域行事など様々な機会を活用して受診啓発を行います。
- 7 オーラルフレイル予防普及啓発事業
地域での講習会の開催、地域人材の育成、地域行事やイベント等でのPR等により幅広く普及啓発を行います。
- 8 防災、知ろう！健康づくり事業
非常時に備え、災害時に役立つパンフレットを発行するとともに、口腔ケア、栄養等に関する知識の啓発講座や外国人向けの啓発講座の開催等を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
健康フェスティバル事業	1,300	1,300	0	
健康づくり推進事業	640	534	106	改訂版作成に伴う増
ウォーキング普及啓発事業	883	1,287	△ 404	実績による減
食育推進普及啓発事業	120	332	△ 212	実績による減
大学と進める健康増進推進事業	400	400	0	
青葉区国民健康保険特定健診受診率向上事業	101	101	0	
オーラルフレイル予防普及啓発事業	275	519	△ 244	事業見直しによる減
防災、知ろう！健康づくり事業	679	689	△ 10	単価見直しによる減
事業費合計	4,398	5,162	△ 764	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	滝本 潔	大友 靖子	大谷、三觜、美甘、日高

[青葉 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費 地域コミュニティ費	性質・ 課題区分	高齢者 地域コミュニティ	事業開始年度	令和元年度
------	------------------------	-------------	-----------------	--------	-------

事業名	地域における起業等支援事業
-----	---------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,000					2,000
前年度	2,500					2,500
増△減	△ 500	0	0	0	0	△ 500

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	0	0	1,800	予	事業費	2,000	2,000
算	メリット+一般財源	0	0	1,800	算	一般財源	2,000	2,000
決	事業費	0	0	1,950	方針に関する決裁 種別()			
算	メリット+一般財源	0	0	1,950	有:件名 ()、日付 (年 月)			

事業の概要 (目的)	知識や経験豊富なシニア層が地域で力を発揮できるよう、身近な場所で、地域でのつながりを得ながらソーシャルビジネスやNPO法人等の立ち上げをしやすい環境を整備します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>青葉区では今後高齢者が急増するため、シニア層が長く健康に地域のつながりの中でいきいきと暮らせるよう予防的な取組と、地域課題の解決に向け、きめ細かなニーズに応えられるような多種多様な企業活動やサービスの創出が求められます。</p> <p>また、新型コロナウイルスの感染拡大により、区民が地域で過ごす時間は増えており、これを契機とした地域の活性化のニーズは高まっています。</p> <p>一方で、活力あるシニア層等が地域での起業等にあたり、地域でのつながりづくりや身近な相談機能等、総合的な支援機能は区内にありません。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針II(目標達成に向けた施策) 「3 さまざまな人や活動がつながる、活力のあるまち」
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

- ・R1年度 連続セミナー:参加者47人、起業プラン作成者21人
- ・R2年度 きっかけづくり:キックオフイベント(1回、60人)、啓発講座(4回)、連続起業セミナー(1回、20人)、プロボノ実践連続講座(基礎編)(1回、40人)
- 継続支援:起業相談室(6月から12月まで、月1回実施)
- マッチング支援:プロボノ実践講座(実践編)(1回、30人、支援チームによる支援の実施:2団体)

【実施内容】

横浜市と東急(株)との「次世代郊外まちづくりの推進」に関する協定に基づき実施される取組と連携し、新たに力を発揮したい人や起業等に向け準備中の人を対象に、段階や関心に応じた複数のセミナーや相談事業等を展開し、地域における起業等を総合的に支援します。

- ・きっかけづくり:テーマ型啓発イベント(3回程度)や連続セミナー(1回)の実施
- ・継続支援:起業相談室(月1回程度)
- ・マッチング支援:プロボノ実践講座の実施(1回)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域における起業等支援事業	2,000	2,500	△ 500	新規調査終了に伴う減
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,000	2,500	△ 500	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 松永 朋美	係長 伊藤 彩子	地域包括ケア推進担当 伊藤 彩子
--------------------	-------------	-------------	---------------------

[青葉 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成15年度
------	-----------	---------	-----	--------	--------

事業名	地域包括ケアシステムの推進
-----	---------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
14	5
16	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,274					3,274
前年度	2,030					2,030
増△減	1,244	0	0	0	0	1,244

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	1,211	2,464	2,007
メリット+一般財源	1,211	2,464	2,007
決算			
事業費	843	1,899	1,586
メリット+一般財源	843	1,899	1,586

歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	3,000	3,000
一般財源	3,000	3,000

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	青葉区は、今後の75歳以上人口の伸び率が市内で最も高いため、質、量共に医療や介護のニーズが高まることが予想されます。このため、介護予防や医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、切れ目なくサービスを受けられる地域包括ケアを進めます。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等
閉じこもりがちなコロナ禍において、身体機能が低下したり、孤立する高齢者が見られています。そのような中で、高齢者が地域で健やかに安心して暮らせるよう、関係機関や民間企業と連携し、IT技術を活用した普及啓発や地域とつながりを持てる環境づくりを進める必要があります。また、緊急事態下でもスムーズに医療や介護が受けられるよう、平常時から、関係機関との連携を進める必要があります。

1 健康づくり・介護予防事業
要介護認定者の伸びを抑えるため、閉じこもりがちなコロナ禍においても機能維持ができるよう、ITを活用し広く介護予防を普及するとともに、新たな生活様式に沿った、介護予防に資する地域の身近なグループ活動の展開が必要です。また、多世代に渡り課題を有する家庭への包括的支援体制の構築に向け、区内関係機関との連携が必要です。

2 医療・介護連携事業
可能な限り在宅で療養したいというニーズは、コロナ禍においてより増えていくと考えられます。このため、在宅での療養や介護が安心して提供されるよう、医療関係者と介護関係者の日頃からの情報交換や連携を進める必要があります。

3 認知症施策推進事業
認知症は高齢になればなるほど誰もが発症しうる病気であり、長寿かつ高齢者人口が急増する青葉区においては、特に区民の認知症に関する理解を深める必要があります。また、認知症患者及びその家族・介護者への、地域での見守りや支援体制を整えることが求められています。

4 シニアの社会参加
コロナ禍においてもシニアの社会参加を継続・促進するため、IT技術等を活用した活動団体の活発化支援が求められています。

5 高齢者支援事業
高齢者やその介護者に対して介護保険外の区独自サービス等を一括して情報提供が求められています。また、今後急増する75歳以上の高齢者はちょっとしたお困りごとが発生しやすいため、控除だけでなく、地域の共助や民間企業によるサービス等重層的な生活支援を受けられる地域づくりを進める必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針Ⅱ(目標達成に向けた施策) 「1 誰もがいきいきと、健やかに暮らせるまち」
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	老人福祉法、介護保険法、高齢者生きがいづくり支援事業補助金交付要綱
------------	-----------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

シニアの社会参加推進事業					
	指標	29年度実績	30年度実績	元年度	2年度見込み
シニア社交ダンスのつどい	参加者数	254人	221人	224人	中止
いきいき芸能大会	出演者数	49組136人	51組145人	47組111人	40組80人
老人クラブ(区老連のみ)	クラブ数	84	84	84	84
	会員数	5,286人	5,264人	5,168人	5,200人
	人口に占める割合	8.43%	8.03%	7.73%	7.65%
高齢者数(前年度末時点)		62,670人	65,536人	66,848人	68000人

【実施内容】

- | | |
|---|---|
| <p>1 健康づくり・介護予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハマトレ効果検証チラシの増刷 ・健康づくり及び介護予防に係る一体的な施策検討を行う連絡会の開催 ・高齢者のいる世帯への包括的支援連絡会の開催 | <p>本年度 635 千円（前年度 363 千円）</p> |
| <p>2 医療・介護連携事業</p> <p>医療・介護連携のための多職種会議「顔の見える場づくり会議」の開催及び取組推進</p> | <p>本年度 540 千円（前年度 441 千円）</p> |
| <p>3 認知症施策推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青葉区に関連する認知症関連医療機関の連携促進等に資する連絡会の開催 ・認知症高齢者安心ネットワーク連絡会の開催 ・認知症初期集中支援チームの支援 | <p>本年度 175 千円（前年度 626 千円）</p> |
| <p>4 シニアの社会参加推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者生きがいづくり支援事業
老人クラブ活動活性化に向けた研修会等の支援、かがやきクラブ青葉と共催事業の開催（高齢者による社交ダンスのつどい、及び高齢者による踊り、詩吟、コーラス等舞台演技の練習成果発表会） ・市内最高齢者（男女）に区から祝状を贈呈 ・区内ボランティア団体のIT活用支援事業 | <p>本年度 1,040 千円（前年度 240 千円）</p> |
| <p>5 高齢者支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉保健サービスガイドの作成 ・CM向け民間の生活支援サービス事業所紹介冊子の作成 | <p>本年度 884 千円（前年度 360 千円）</p> |

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 健康づくり・介護予防事業	635	663	△ 28	
1-1 介護予防推進事業	280	550	△ 270	局予算化による減
1-2 健康づくり・介護予防連絡会の開催	10	13	△ 3	実績による減
1-3 高齢者のいる世帯への包括的支援連絡会の開催	345	100	245	コロナ禍での取組拡充による増
2 医療・介護連携事業	540	141	399	
2-1 医療・介護連携促進のための経費	540	141	399	コロナ禍での連携促進による増
3 認知症施策推進事業	175	626	△ 451	
3-1 認知症関連医療機関連絡会の開催	45	45	0	
3-2 安心ネットワークづくり	50	501	△ 451	隔年対応による減
3-3 認知症支援・啓発運動の展開	80	80	0	
4 シニアの社会参加推進事業	1,040	240	800	
4-1 高齢者生きがいづくり支援事業	230	230	0	
4-2 敬老祝品贈呈事業	10	10	0	
4-3 区内ボランティア団体向けIT支援事業	800	0	800	コロナ禍でのつながりづくり(新規)
5 高齢者支援事業	884	360	524	
5-1 福祉保健サービスガイド作成	384	360	24	必要部数の見直しによる増
5-2 生活支援サービス企業との連携促進	500	0	500	民間企業との連携促進（新規）
事業費合計	3,274	2,030	2,148	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域包括ケア推進担当
	松永 朋美	伊藤 彩子	伊藤 彩子

[青葉 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成15年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	障害者ふれあい事業
-----	-----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,050					1,050
前年度	1,050					1,050
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	774	774	930
算 メリット+一般財源	774	774	930
決 算 事業費	774	774	1,007
算 メリット+一般財源	774	774	1,007

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	1,050	1,050
算 一般財源	1,050	1,050

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	障害者交流のレクリエーション活動等、社会参加活動や地域とのふれあいの支援、推進。障害者福祉に対する区民意識啓発の推進。精神疾患を理由に支援を要する方の増加に伴う病気への理解を図るための普及啓発講演会等の実施。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>身体障害、知的障害、精神障害の3障害者数(障害者手帳所持者数)は増加し続けているが、区内には障害者を支援する福祉サービス事業所、障害者施設、医療機関等が少なく、相談支援機関や関係事業所のネットワークも十分に育ってはいない。</p> <p>そのような中で、誰もが地域で安心して住み続けるためには、全ての人々が積極的に地域福祉活動に参加できるように、障害の有無にかかわらず社会参加を促進し、地域と触れ合う機会を創出する必要があります。障害者が家庭に引きこもらず、地域の中で生き生きと生活できるように障害者理解を深めるためにも、幅広い普及啓発活動が必要です。</p> <p>また、コロナ禍においても福祉サービスの提供は継続を求められており、新たな生活様式を工夫し事業を続ける施設・事業所等への支援や地域とのつながり作りが新たな課題となっている。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 2 陳情 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度青葉区運営方針「1 誰もがいきいきと、健やかに暮らせるまち」
3 根拠法令・要綱等	障害者基本法、障害者総合支援法、青葉ふれあい農園事業補助金交付要綱、青葉区障害者交流レクリエーション事業補助金交付要綱、青葉区障害者支援支援施設等自主製品販売促進支援事業実施要綱

【実績の推移・今後見込み】

事業名	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年度
ふれあい農園収穫祭	145	100	230	200	108	中止
青葉ふれあいまつり	258	650	680	550	540	中止

ふれあい農園収穫祭、青葉ふれあいまつりは、令和2年度はコロナで中止。次年度以降の開催方法は実行委員会で検討中のため詳細は未定。普及啓発に関する講演会等は、年度毎に対象者やテーマ、開催方法を検討するため、開催回数は年1～2回で参加者人数の目標値設定はない。

【実施内容】

- ふれあい農園：障害者とボランティアと一緒に植え付けから収穫まで一連の農作業を体験することで交流を深めます。
- 障害者レクリエーション事業(青葉ふれあいまつり)：障害者団体や障害者施設が実行委員会を組織し、障害者、区民の交流機会を作り、障害理解、共生について啓発を行います。
- 精神保健普及啓発事業：精神障害に関する専門的な知識を有する生活支援センターと共に、精神保健福祉に関する普及啓発講演会等を行います。
- 自主製品販売促進事業：自立支援協議会日中活動部会と連携し、障害者施設等で作る自主製品販売の機会を拡大するため、専門のアドバイスを受け、製品の見直しや販売方法の工夫を図ります。
- 重度心身障害児者に関する普及啓発事業：自立支援協議会重心部会と連携し、重度重複障害のある障害児者の地域での生活について理解を図るため、講演会を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ふれあい農園	140	140	0	
障害者交流レクリエーション事業	280	280	0	
精神保健福祉普及啓発事業	260	260	0	
自主製品販売促進事業	220	220	0	
重度心身障害児者に関する普及啓発事業	150	150	0	
			0	
事業費合計	1,050	1,050	0	

【根拠とするデータ等】

全事業共に、過年度の実績から前年度と同額で予算積算。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	障害者支援担当
	松永 朋美	竹内 弥生	竹内 弥生

[青葉 区 子ども家庭支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成29年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	障害児支援事業
-----	---------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
31	1
31	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	441					441
前年度	441					441
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	454	211	411
メリット+一般財源	454	211	411
決 算 事業費	284	150	237
メリット+一般財源	284	150	237

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	441	441
一般財源	441	441

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	発達面や知的・身体的に配慮が必要な児童とその保護者や支援者を対象に啓発を進め、適切な支援につなぎます。また、「サポートファイル かけはし」や地域資源をまとめた「きらきらマップ」を活用し、保護者と支援者、支援者どうし、さらに地域も含め連携を深めます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	子どもの発達障害は、育てにくさなどから虐待につながるリスクがあるため、適切な支援につなげられるよう、保護者への啓発が必要です。 障害児の支援においては、一人ひとりの子どもについて、その個性や特徴に応じた一貫した支援が求められています。このツールとして29年度に作成した障害児に関する「サポートファイル かけはし」について、引き続き周知を図るとともに、より活用しやすいよう、利用の実態に合わせて改善していく必要があります。 また、障害児とその保護者が地域の必要な支援につながり、安心して生活できるよう、保護者と地域との連携を深める必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度運営方針 II 目標達成に向けた施策 「1 誰もがいきいきと、健やかに暮らせるまち」
3 根拠法令・要綱等	児童福祉法、障害者総合支援法

【実績の推移・今後見込み】	障害者手帳所持者数
	29年度 30年度 令和元年度 令和2年度見込 令和3年度見込
愛の手帳(療育手帳)	735 747 747 747 747
身体障害者手帳	223 221 221 221 221

【実施内容】
専門の講師を招き、発達障害に関する啓発活動を行い、支援に必要な児童を必要とする支援につなぎます。また、「サポートファイル かけはし」を保護者、関係する支援者に周知し、活用を図るとともに、より活用しやすくなるよう、事業者及び利用者の声を踏まえた改訂版を作成します。
実施方法・場所(講座)・・・4回/年、区役所内ほか
作成時期・・・3月

【事業費の内訳】																																								
<table border="1"> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>発達障害に関する講演会</td> <td>141</td> <td>141</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サポートファイルかけはし</td> <td>0</td> <td>200</td> <td>△ 200</td> <td>前年度発行分利用による減</td> </tr> <tr> <td>地域資源マップ</td> <td>300</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>増版に係るデザイン変更による増</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>441</td> <td>441</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	発達障害に関する講演会	141	141	0		サポートファイルかけはし	0	200	△ 200	前年度発行分利用による減	地域資源マップ	300	100	200	増版に係るデザイン変更による増				0					0					0		事業費合計	441	441	0	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																																				
発達障害に関する講演会	141	141	0																																					
サポートファイルかけはし	0	200	△ 200	前年度発行分利用による減																																				
地域資源マップ	300	100	200	増版に係るデザイン変更による増																																				
			0																																					
			0																																					
			0																																					
事業費合計	441	441	0																																					

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 椎葉 桂子	係長 豊倉 麗子	子ども家庭係 柿澤 薫
--------------------	-------------	-------------	----------------

[青葉 区 生活衛生 課]

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区分	その他福祉・保健・衛生 動物愛護・適正飼育	事業開始年度	平成12年度
------	------------------------	-------------	--------------------------	--------	--------

事業名	快適で衛生的な暮らし支援事業
-----	----------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	686					686
前年度	737					737
増△減	△ 51	0	0	0	0	△ 51

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予 算 事業費	405	482	588
メリット+一般財源	405	482	588
決 算 事業費	361	496	515
メリット+一般財源	361	496	515

歳出	令和4年度	令和5年度
予 算 事業費	601	601
一般財源	601	601

方針に関する決裁 種別()
 有:件名()、日付(年月)
 無

事業の概要 (目的)	日常生活で最も身近な食品医薬品、居住環境、ペットなどの問題について、適切な情報提供や啓発に取り組みとともに施設等への監視指導や検査を実施し、区民の快適な生活を支援します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>・日常生活の中で最も身近で健康への影響が大きい食品、医薬品、飲料水、居住環境などについて、区民が安心して生活できるよう、安全で快適な環境を確保する必要があります。</p> <p>・青葉区は飼い犬の登録数が市内で1番多い地域となっており、飼い犬のトラブルを解決するには、飼い主の意識向上が不可欠であり、適正飼育の啓発が重要です。また、猫については完全屋内飼育や不妊去勢手術推進等の意識の浸透とともに、飼い主のいない猫については、地域の理解を得ながら適正に管理することが必要です。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 5 区民アンケート
2 運営方針等との関係	「住みつづきたい・住みたいまち」青葉の実現のため、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるよう、暮らしの安全・安心を守ります。
3 根拠法令・要綱等	食品衛生法、食品表示法、医療法、医薬品医療機器等法、動物の愛護及び管理に関する法律等

【実績の推移・今後見込み】	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>H29年度 実績</th> <th>H30年度 実績</th> <th>R元年度 実績</th> <th>R2年度 見込み</th> <th>R3年度 見込み</th> </tr> <tr> <td>食品衛生営業施設数</td> <td>4,660</td> <td>4,924</td> <td>4,928</td> <td>5,000</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>環境衛生関係施設数</td> <td>2,308</td> <td>2,251</td> <td>2,235</td> <td>2,300</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>犬の登録数</td> <td>16,145</td> <td>15,961</td> <td>15,875</td> <td>16,000</td> <td>16,000</td> </tr> </table>		H29年度 実績	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 見込み	食品衛生営業施設数	4,660	4,924	4,928	5,000	5,000	環境衛生関係施設数	2,308	2,251	2,235	2,300	2,300	犬の登録数	16,145	15,961	15,875	16,000	16,000
	H29年度 実績	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 見込み																				
食品衛生営業施設数	4,660	4,924	4,928	5,000	5,000																				
環境衛生関係施設数	2,308	2,251	2,235	2,300	2,300																				
犬の登録数	16,145	15,961	15,875	16,000	16,000																				

- 【実施内容】
- 食品衛生関係普及啓発事業
食中毒、感染症対策のため、消費者や業者等に衛生講習会等を実施して食品衛生関係知識の普及啓発を図ります。高齢者施設や保育所等の社会福祉施設に対して食中毒や感染症の発生を予防するため、施設への立ち入り点検や啓発パンフレット等による自主衛生管理支援を推進します。地域の食に関わるボランティア団体等に対して出張(出前)講習により衛生支援を推進します。
 - 動物の適正飼育推進事業
ペットの飼育に係るトラブルを減少させるため、犬や猫の適正な飼い方に関する啓発を実施します。

【事業費の内訳】	<table border="1"> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>食品衛生関係普及啓発事業</td> <td>158</td> <td>188</td> <td>△ 30</td> <td>事業見直しによる減</td> </tr> <tr> <td>動物の適正飼育推進事業</td> <td>60</td> <td>90</td> <td>△ 30</td> <td>事業見直しによる減</td> </tr> <tr> <td>各事業共通事務費</td> <td>468</td> <td>459</td> <td>9</td> <td>実績に伴う増</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>686</td> <td>737</td> <td>△ 51</td> <td></td> </tr> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	食品衛生関係普及啓発事業	158	188	△ 30	事業見直しによる減	動物の適正飼育推進事業	60	90	△ 30	事業見直しによる減	各事業共通事務費	468	459	9	実績に伴う増				0					0		事業費合計	686	737	△ 51	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																																
食品衛生関係普及啓発事業	158	188	△ 30	事業見直しによる減																																
動物の適正飼育推進事業	60	90	△ 30	事業見直しによる減																																
各事業共通事務費	468	459	9	実績に伴う増																																
			0																																	
			0																																	
事業費合計	686	737	△ 51																																	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	前橋 昌幸	佐藤 宏士 仲澤 誠人	佐藤 宏士